

CSRLレポート 2021

健全な事業活動を通じて
地域社会の一員として責任のある行動をとり
人々のココロとカラダの健康を追求し
持続可能な社会の実現に貢献する



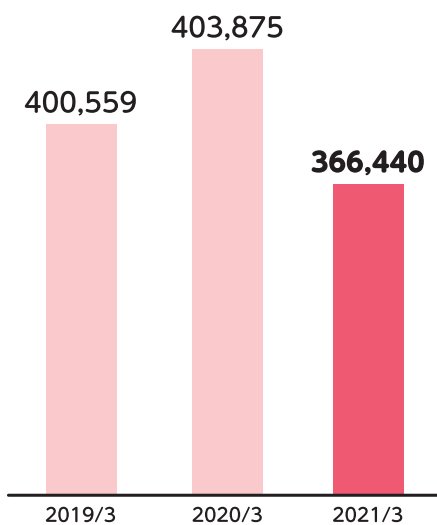
■ 会社概要

(2021年3月31日現在)

名称	株式会社ココカラファイン
事業内容	ドラッグストア・調剤薬局および介護事業の運営を行うグループ会社の経営計画・管理ならびにそれに付随する業務
所在地	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3丁目17番6号
設立日	2008年4月1日
資本金	20,184百万円
関係会社	株式会社 ココカラファイン ヘルスケア 株式会社 岩崎宏健堂 株式会社 ファインケア 株式会社 愛安住 株式会社 シーエフエナジー 株式会社 ココカラファイン アソシエ 株式会社 ココカラファイン ソレイユ 株式会社 小石川薬局 株式会社 ココカラファイン フリュアヴァンス 株式会社 福永薬局 有限会社 薬宝商事 株式会社 CFIZ 有限会社 松田 株式会社 フタツカホールディングス及びその子会社 雅ファーマシー 株式会社

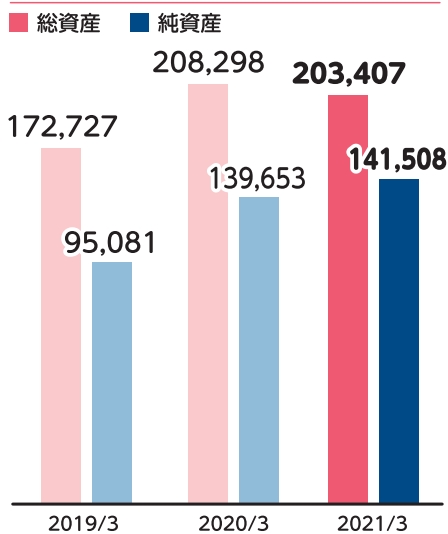
売上高

(単位:百万円)



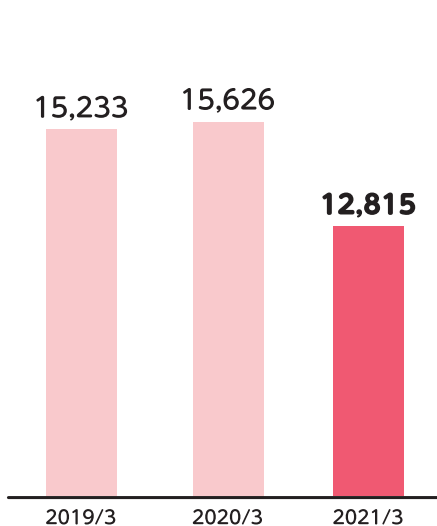
総資産／純資産

(単位:百万円)



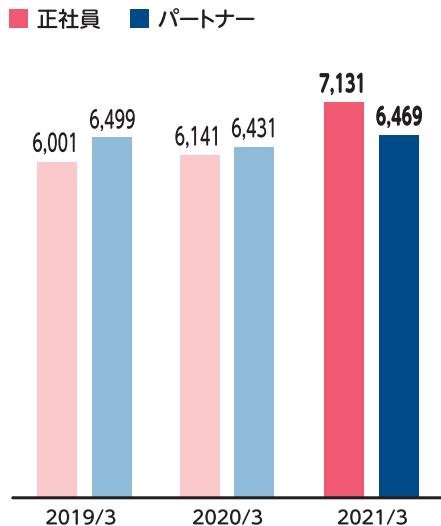
経常利益

(単位:百万円)



従業員数

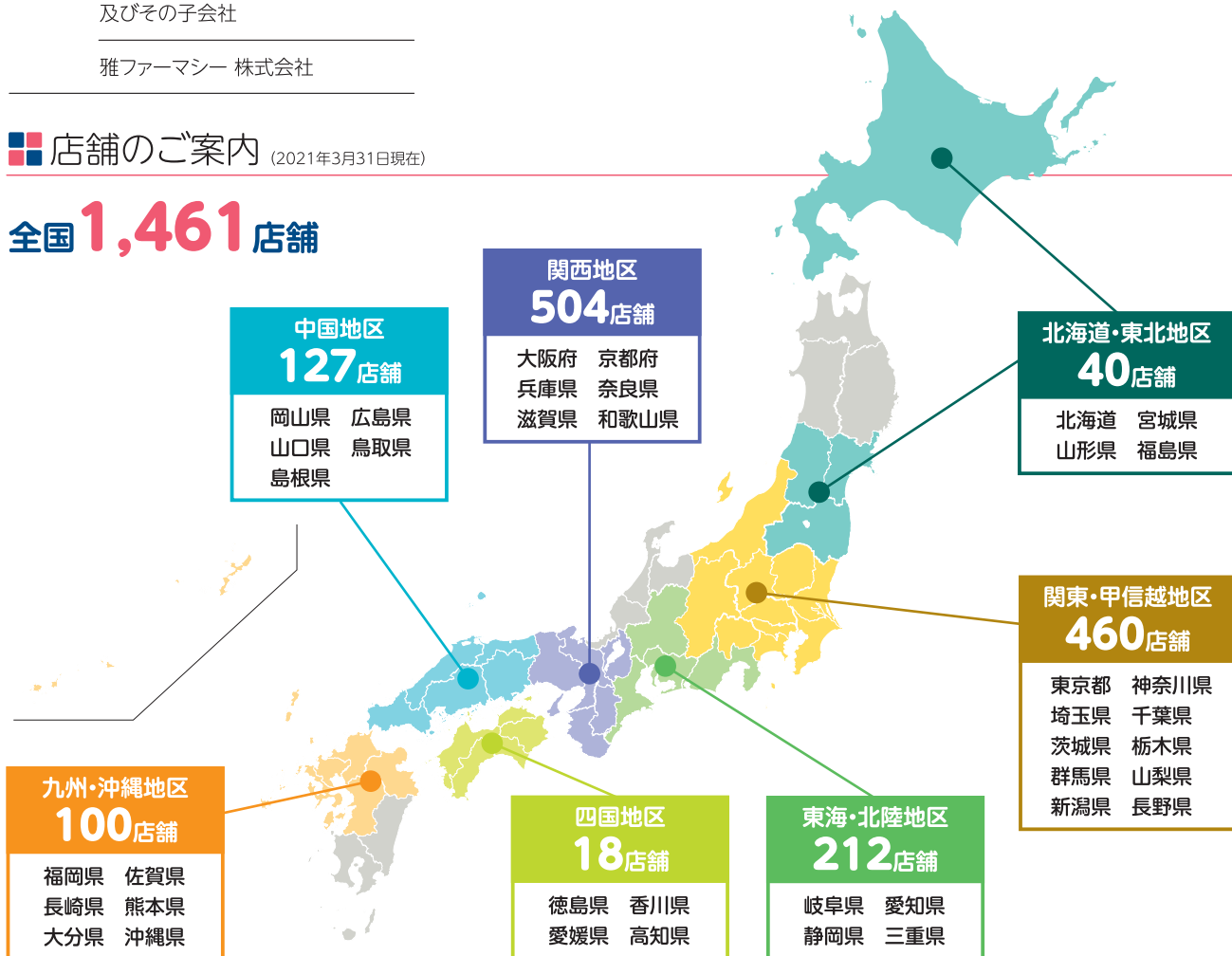
(単位:人)



■ 店舗のご案内

(2021年3月31日現在)

全国 **1,461** 店舗



Well Being 社会の実現を目指した幅広い事業展開



セルフメディケーション時代を迎えて、
 社会全体で高まる予防・自己健康管理ニーズに応えるため、
 当社はドラッグストア&調剤事業を軸に事業領域を拡大。
 調剤併設型ドラッグストアの拡充や、在宅調剤サービスの展開、介護事業の拡充など
 を通じて、お客様や患者様のQOL(Quality of Life)を高める幅広い
 ヘルスケアサービスを総合的に提供し、地域社会に貢献をして参ります。

約1万人の専門家たちが地域の健康をサポート

介護・訪問介護	調剤	ドラッグストア
<ul style="list-style-type: none"> ●施設介護 ●住宅介護 ●訪問介護 ●住宅改修 ●福祉用具(レンタル・販売) 	<ul style="list-style-type: none"> ●調剤 ●在宅調剤 	<ul style="list-style-type: none"> ●健康食品・医薬品の販売 ●健康アドバイス ●栄養相談 ●美容アドバイス
<ul style="list-style-type: none"> ケアマネージャー 看護師 介護福祉士 作業療法士 理学療法士 ヘルパー 	<ul style="list-style-type: none"> 薬剤師 管理栄養士 登録販売者 	



トップコミットメント



株式会社ココカラファイン
代表取締役社長
塚本 厚志

活き活きとした生活"well being"を実現してまいります。

近年日本では、医薬や介護に関する制度改革や規制緩和が進んでいます。人々が健康で長生きするためのアドバイスやサービスを行う健康サポート薬局制度の推進や、住み慣れた地域で最後まで過ごすための地域包括ケアシステムの構築、生活者が自身の健康管理を積極的に行うセルフメディケーションの啓発など、様々な健康に関する取り組みが進められています。このような状況の中、私たちは「人々のココロとカラダの健康を追求し、地域社会に貢献する」という経営理念のもと、「cure：治したい」「care：ココロ、カラダを整えたい」「fine：ゲンキで健康的な生活をした」というお客様の求める価値の実現を目指し、活き活きとした生活——"Well being"を実現するためのサービスを提供し、今後も地域社会に貢献してまいります。

地域におけるヘルスケアネットワークの構築

政府は健康寿命の延伸を重要課題と位置づけ、可能な限り最期まで住み慣れた地域で暮らせるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援などを一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を推進しています。私たちは、ココカラファイングループの持つドラッグストア事業、調剤事業、介護事業、インターネット販売事業などの連携を進め、様々なサービスを一体的に提供することのできる仕組みである「地域のヘルスケアネットワーク」の構築に取り組んでいます。ココカラファインの店舗が地域のヘルスケア全般の相談窓口としての機能を持ち、そこにいる資格者がお客様とのコミュニケーションの基点となり、地域包括ケアシステムにおいて、チーム医療のコーディネーター役として中心的な役割を果たすことができると確信しております。

持続可能な社会をつくるためのココカラファインの取り組み

ココカラファインは、全従業員が正しい知識と対処法を身につけて自身や家族の健康増進に努める「ココカラヘルスキャンペーン」の実施を通じ、健康経営を推進しております。この程この取り組みが評価されたこともあり、経済産業省が企画する「従業員の健康」に関して一定の基準を満たす優良企業に与えられる「健康経営優良法人」の認定を取得いたしました。また、環境省主催の取り組み「Re-Style」のパートナー企業として、限られた資源の「Reduce/減量」、「Reuse/再利用」、「Recycle/再生」の「3R」に積極的に取り組むなど、事業活動での環境負荷低減、本業を通じた環境保全にも全社をあげて取り組んでいます。このようなSDGs[※]に対する取り組みや、地域で行なう健康イベント、店舗でのICT活用などの様々な営業施策は、「人々のココロとカラダの健康を追求し、地域社会に貢献する」という経営理念をベースに構築されています。

経営理念の実現に近づくことで、持続的な開発を維持するために必要な情報や人材、資金が集まり、その経営資源は新たなお客様のニーズを満たすことに活用されていきます。私たちは、この循環を継続させることで持続可能な社会を実現していくとともに、あらゆるステークホルダーから信頼される企業であり続けられるよう努力してまいります。

※ SDGs

2015年9月に国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成される持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）。発展途上国・先進国に関わらず国連加盟193か国が2016～2030年の15年間で達成するためのユニバーサル（普遍的）な目標。

CSRについての考え方

CSR基本方針

私たちは、お客様、株主様、お取引先様、従業員、地域社会など様々なステークホルダーの皆様に対して、「人々のココロとカラダの健康を追求し、地域社会に貢献する」という経営理念、および「おもてなしNo.1になる」というコーポレートスローガンに基づき事業活動を営むことが、経営およびCSR活動の基本であると考えています。

「おもてなし」を実現するために「6つの中核主題」に取り組み、今後も本業を通じて、社会的課題である「持続可能な開発目標」 Sustainable Development Goals (SDGs) の実現に向けて、さらなる貢献を目指します。

ココカラファインのCSR活動とSDGs

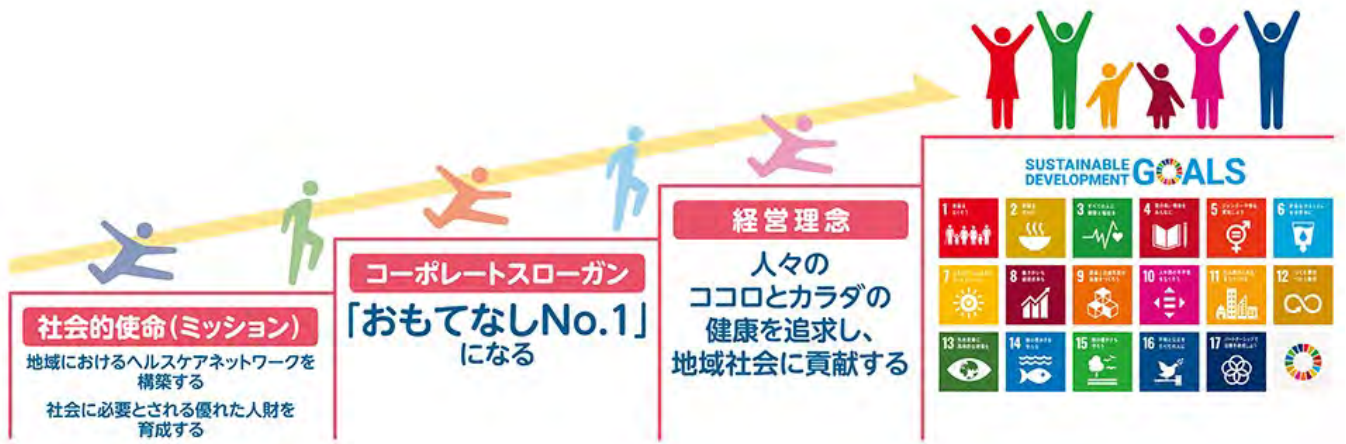
2015年国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」の達成に向けて、本業を主軸に、2030年までの17目標達成に向けて社会課題の解決に取り組んでいます。CSRのグローバルスタンダードであるISO26000に即してCSR活動の体系化を図り、活動を推進しています。ココカラファイングループの7つの原則と6つの中核主題に即して、関係各部署から行動計画、目標、結果を集計し、情報を共有しながら活動しています。



事業活動を通じたSDGsの達成

ココカラファイングループは、事業活動を通じて「人々のココロとカラダを健康を追求し、地域社会に貢献する」事を企業理念としています。

また、人々の暮らしを支えるヘルスケアのネットワークを地域社会との連携により構築すること、そのネットワークを支える優れた人材の育成を社会的使命とし、『おもてなしNo.1』の実現を目指して事業活動を進めています。



CSR活動・SDGsの重点領域

●ココカラファイングループのSDGs活動

ココカラファイングループは、SDGsの17の目標達成に向けて、様々な取り組みを進めています。その中でも、特に次の4項目を中心として、様々な活動を行なっています。

3 すべての人に健康と福祉を

ドラッグ事業、調剤事業、介護・福祉事業、訪問看護、訪問介護など、ココカラファイングループの事業活動を通して、すべてのお客様・患者様の健康や福祉に貢献していきます。

8 働きがいも経済成長も

従業員の人權、労働環境の保護、労働安全と働きがいを促進することで、持続的、包括的に経済成長を促進していきます。

11 住み続けられるまちづくりを

地域のヘルスケア分野における連携をつくり、地域住民が安心して健康で快適な暮らしができる環境づくりを目指しています。

17 パートナーシップで目標を達成しよう

ココカラファイングループは、お取引先様や各自治体と、地域住民の健康増進につながる活動を支えあえるパートナーシップを築いていきます。

CSR体制

管理本部長（取締役副社長）を委員長として、年2回のCSR委員会を開催しています。さらに、CSR活動の推進を図るため、2つの専門部会を設置し、グループをあげて取り組んでいます。

CSR推進組織



CSRの浸透

ココカラファイングループでは、グループの全従業員に、事業活動それ自体が地域社会への貢献となり、SDGsの達成などにつながるような商品・サービスの実現を常に意識して行動するよう求めています。様々なポジションの従業員が、人々の「cure」「care」「fine」のお手伝いを心がけ、ココロとカラダの健康を実現できるよう、さまざまな形でCSRの浸透を図っています。

研修

- CSR/SDGs研修
新入社員研修、店長研修にて実施しています。
- CF52
週1回、社内の各部署での行動指針・SDGsに基づく活動事例を発表しています。
発表はココカラファイングループの経営陣全員による会議の場で行われ、その模様を全従業員に向けて動画配信しています。

社会的責任として取り組む「6つの中核主題」

1. コーポレート・ガバナンス
2. 人権・労働慣行
3. 環境
4. ビジネスパートナーとの協働
5. お客様への対応
6. 地域社会への貢献

中核主題ごとの重要課題への対応

6つの中核主題	I. コーポレートガバナンス		経営の透明性	
	重要テーマ	具体的な活動	ESGとSDGsとの対応	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経営の透明性確保と経営効率化の推進 ■ 事業活動を行うための内部統制機能 ■ 法令順守、反社会的勢力の排除 	<ul style="list-style-type: none"> ● コーポレートガバナンスに関する基本方針の遵守 ● 経営の透明性確保と経営の効率化の推進 ● 内部統制の機能 ● 取締役会・監査委員会の機能 ● 法令順守への取組み 	 	G ガ バ ナ ン ス
6つの中核主題	II. 人権・労働慣行		従業員の働きがい	
	重要テーマ	具体的活動	ESGとSDGsとの対応	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法令順守の基づく運営 ■ 社会に必要とされる人材の育成 ■ 従業員の人権、労働環境の保護 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権・労働慣行に関する基本方針の遵守 ● 従業員の人権労働慣行の保護 ● 従業員の労働安全と働きがいの促進 ● 地域社会に必要とさせる人材育成 ● 従業員の健康増進に向けた取組み 	   	S 社 会
6つの中核主題	III. 環境		私たちの地球を守っていく	
	重要テーマ	具体的活動	ESGとSDGsとの対応	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ CO2排出削減 ■ プラスチック削減 ■ 環境への配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境対策を実施 ● CO2の排出量削減への取組み ● 資源の有効活用 ● 3Rへの取組み 	   	E 環 境
6つの中核主題	IV. ビジネスパートナーとの協働		公正な関係性を目指す	
	重要テーマ	具体的活動	ESGとSDGsとの対応	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法令順守に基づく対応 ■ 高い倫理観に基づく公正な事業活動 ■ 健全な取引に基づく信頼関係の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジネスパートナーとの健全で公正な関係を築く ● 反社会的勢力への対応 	  	S 社 会
6つの中核主題	V. お客様への対応		お客様の健康と生活の向上を目指す	
	重要テーマ	具体的活動	ESGとSDGsとの対応	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ おもてなしNo.1を目指す ■ 従業員教育 ■ お客様満足度の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● おもてなしNo.1の実現に向けての取組み ● お客様が買い物しやすい環境づくり ● 全国の店舗レベルと従業員の知識の向上 ● お客様のニーズを満たす商品開発 ● 健康を増進する薬局を目指して ● 超高齢社会への対応 	     	S 社 会
6つの中核主題	VI. 地域社会への貢献		地域社会に必要とされる事業の継続	
	重要テーマ	具体的活動	ESGとSDGsとの対応	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ セルフメディケーションの推進活動 ■ 適切な社会支援と地域貢献活動 	<ul style="list-style-type: none"> ● セルフメディケーションへの変遷への対応 ● セルフメディケーション推進への取組み ● 地域貢献活動の実施 	 	S 社 会

外部からの評価



I. コーポレートガバナンス

16 労働と就業を
すべての人に



17 パートナリシップで
目標を達成しよう



経営の透明性

- コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方
- ガバナンス体制・仕組み
- 役員報酬
- 内部統制機能
- 法令遵守に向けた取り組み



■ コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

基本的な考え方

当社は、「人々のココロとカラダの健康を追求し、地域社会に貢献する」を経営理念として掲げ、「おもてなし No.1になる」ことをコーポレートスローガンとし、「地域におけるヘルスケアネットワークの構築」と「社会に必要とされる優れた人財の育成」のミッションを果たすことで、幅広く社会から信頼を得て、持続的に中長期的な企業価値を向上させてまいります。

その実現のためには、意思決定の透明性・公正性・迅速性を確保し、株主をはじめとするすべてのステークホルダーとの信頼関係を構築していくことが重要だと考えております。

基本方針

- (1) 株主の権利と平等性の確保に努めます。
- (2) 株主以外のステークホルダーとの適切な協働に努めます。
- (3) 会社情報を分かりやすく、有用性の高い情報として適切に開示し、透明性を確保するよう努めます。
- (4) 取締役会は、株主に対する受託者責任・説明責任を踏まえ、収益力・資本効率等の改善を図るために役割・責務を適切に果たすよう努めます。
- (5) 株主との建設的な対話に努めます。

監査等委員会設置会社

当社は2016年6月28日の定時株主総会での承認をもって、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社に移行いたしました。監査等委員会を設置し、監査等委員である取締役が取締役会における議決権を付与することで、取締役会の監督機能の強化を図り、コーポレート・ガバナンスをより一層充実させるとともに、取締役への権限委譲により迅速な意思決定を行い、経営の効率性を高めることにより、更なる企業価値の向上を図ることを目的としております。

■ ガバナンス体制・仕組み

企業統治の体制と概要

- 取締役会は、取締役8名で構成され、原則月1回の定例取締役会と必要に応じた臨時取締役会を開催し、少人数による迅速かつ適切な運営ができる体制にしております。業務執行取締役は取締役会から委任された範囲における業務執行責任を有し、当社社長が会社の業務を統括し、各取締役は、業務執行全般について当社社長を補佐するほか、取締役会から委任された部門における業務執行権限と責任を有しております。
- 取締役会の諮問機関として、指名・報酬諮問委員会を設置しております。
指名・報酬諮問委員会は、委員の過半数が独立社外取締役で構成され、指名諮問委員会と報酬諮問委員会の双方の機能を担っております。同委員会は、代表取締役・取締役候補者の指名及び報酬等に関する手続きについて、公平性、透明性等を確保のうえ取締役会に対し答申を行います。
- 監査等委員会は、監査等委員3名(うち社外取締役3名)で構成されております。監査等委員会で決議された監査の方針・計画に基づき、取締役の職務の執行並びに会社の業務や財産の状況を監査し、計算書類等に関しては会計監査人からの報告に基づき監査を行っております。監査の実施にあたっては、取締役会に出席し、適宜意見を述べるほか、役員に対して報告を求め、書類・記録等を閲覧し、あるいは重要な会議に出席するなど、必要に応じ適切に行っております。
- 上記のほか、経営上の重要な事項の決定機関としてグループ経営会議を設置しております。
グループ経営会議は、社内取締役、執行役員及び主要子会社の取締役をもって構成され、当社及びグループの経営方針、業務執行上の方針を協議、策定、決定し、経営活動を効率的に推進することを目的として開催します。
- 業務執行の適正性及び効率性を確保するために業務執行部門から独立した内部監査室を設置しております。
内部監査室では、当社社長に承認された内部監査計画に基づく内部監査を通じて会社の業務執行状況を把握し、業務が法令・定款及び社内規程に準拠して妥当であるかを公正普遍に調査・検証しています。

企業統治の体制を採用する理由

当社は、監査等委員会を設置し、監査等委員である取締役に取締役会における議決権を付与することで、取締役会の監督機能を強化し、コーポレート・ガバナンスの一層の充実及び迅速な意思決定を行い、経営の効率性を高めることにより、更なる企業価値の向上を図っております。

役員報酬

経営陣幹部・取締役（社外取締役、監査等委員は除く）の報酬については、役割や責任に応じた固定報酬と、会社業績や経営計画に連動性を確保した業績連動報酬、及び企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えることなどを目的とした、対象期間中の中期経営計画に定める会社業績等に連動する業績連動型株式報酬にて構成されています。社外取締役、監査等委員に関しましては、固定報酬のみとしております。

監査等委員を除く取締役の固定報酬については、株主総会で承認された報酬枠の範囲内で、指名・報酬諮問委員会の答申を受け、取締役会の決議により決定し、業績連動報酬については、毎年の業績・経営環境を考慮しつつ、取締役の報酬枠の範囲内で、指名・報酬諮問委員会の答申を受け、取締役会の決議により決定いたします。業績連動型株式報酬は、対象期間中の中期経営計画に定める会社業績等の数値目標の達成率等に応じた当社普通株式等の交付等を、株主総会で承認された金銭報酬債権の上限額及び普通株式数の上限数内で、指名・報酬諮問委員会の答申及び監査等委員会における審議結果を踏まえ、取締役会の決議により決定いたします。監査等委員の報酬については、株主総会で承認された報酬枠の範囲内で、監査等委員会にて協議、決定いたします。

内部統制機能

ココカラファインは、内部統制における4つの目的 ①業務の有効性及び効率性、②財務報告の信頼性、③事業活動に関わる法令等の遵守、④資産の保全のため、システムの充実と強化に取り組んでいます。

業務執行部門から独立した内部監査室が、代表取締役社長に承認された計画に基づいて内部監査を行っています。会社の業務実施状況を把握し、①全ての業務が法令・定款および社内規程に準拠しているか、②適正・妥当かつ合理的に行われているか、また③会社の制度・組織・諸規程が適正・妥当であるかを、公正・不偏に調査・検証しています。監査結果を被監査部門にフィードバックするとともに、経営層および監査等委員に適時報告することによって、不正・過誤の防止、会社の財産の保全ならびに経営効率の向上に努めています。

会議体運営機能

ココカラファインは、経営上の重要な事項について、グループ経営会議において慎重に協議するとともにグループ会社全体の意思統一を図っています。その他、代表取締役社長を議長としたコンプライアンス・リスクコントロール委員会が、コンプライアンス体制の充実・強化を目的として推進活動、教育研修等を行い、内部統制体制の構築・改善に努めています。

また、グループ経営会議で定められた事項を、速やかに審議・答申する各種委員会を設置しています。「CSR委員会」「賞罰委員会」をはじめとした下記委員会とその部会が、各事業と連携しながら、その浸透と実行を管理・監督することでコーポレート・ガバナンスの強化を図っています。

CSR委員会

ココカラファインの企業価値・ブランド価値を向上させることを目的に、経営理念「人々のココロとカラダの健康を追及し、地域社会に貢献する」を実現するために、基本的CSR（CSR Basic：CSRリスクを最小化し、企業価値を継続・発展させる活動）と当社グループならではのCSR（CSR Presentation：企業価値を継続し、かつ高める活動）に分けて取り組み、その改善状況を評価する。

安全衛生部会

- 労働安全衛生法に基づく安全委員会と衛生委員会とを統合した部会。
- 労働者の危険または健康障害を防止するための対策などを調査・審議することを目的とする。（労働安全衛生法第19条）
- グループ全体の社員の安全衛生に関する取り組みを推進する。

健康経営部会

- CSRの中核課題である「人権・労働慣行」「地域社会への貢献」に基づき、従業員の健康増進に積極的に寄与し、ひいては地域社会の健康増進につなげていく。

コンプライアンス・リスク・コントロール（CRC）委員会

グループのコンプライアンス、リスクに関する現状を確認、対処し、改善策を協議する。
グループのコンプライアンス、リスク管理体制の充実、強化を図るための施策を推進する。
会社法ならびに金融商品取引法の要請する内部統制システムの整備に関する本社取締役会の諮問機関。

規程管理部会

- グループの諸規程の整備、管理に関する改善を行う。
- グループの業務運営の適正化、強化、効率化を図るために、規程の整備、改廃が必要な事項について、担当主管部門が原案を起案し、当部会において審議する。

リスク管理部会

- CRC委員会の作業部会として、グループのコンプライアンス、リスクに関する現状を確認、対処し、改善策を立案する。またこれらに係る管理体制の充実、強化を図るための施策を実施する。
- 会社法の要請する内部統制システムの有効性に関する評価を行う。
- グループの個人情報の保護・管理に関する個人情報保護統括責任者の諮問機関として位置付け、グループ全体の個人情報保護・管理の向上に資するとともに、個人情報に関する事故、トラブル発生時の対応を行う。
- 各種情報の集約・管理に基づいた情報セキュリティの強化に向けた取り組みを統括する。

内部統制部会

- 金融商品取引法の要請する内部統制システムの有効性に関する評価を行う。
- システムの整備及び運用状況を確認し、改善案を立案する。
- 全体の進捗及び軽微ではないと判断する事項をCRC委員会に報告する。
- グループ全体の内部統制の維持向上に資することを目的とする。

グループ賞罰委員会

- グループ各社の従業員に対する表彰および懲罰処分を実施する際に公正な取扱いを行うために設置し、賞罰の決定を行う。
- 下部組織として賞罰小委員会を設置し、小委員会ではグループ各社からの賞罰案件に関して、定期表彰と軽微な懲罰（減給未満の懲罰が適当であると判断する事案）を決定するとともに、軽微ではないと判断する事案をグループ賞罰委員会に上程する。

法令遵守に向けた取り組み

当社及び当社子会社は、「倫理綱領」を定め、企業が存立を継続するためには、コンプライアンスの徹底が必要不可欠であるとの認識のもと、すべての役員及び従業員が公平で高い倫理観に基づいて行動し、「良き企業市民」として広く社会から信頼されるよう取り組んでまいります。また、市民社会の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済活動や社会の発展を妨げる反社会的勢力に対しては、毅然とした態度を貫くとともに、あらゆる関係の排除に努めます。

法令遵守体制強化への取り組みとして、独立した立場にある社外取締役の複数選定による相互牽制体制の構築や各種法的規制への対応などを実施し、より実効性の高い組織の構築に努めています。また、各事業部門を横断する機能を持つ専任部署であるコンプライアンス統括部は、会社全体を見渡しながらコンプライアンスやリスク管理に関する方針の策定や適切な提案を行い、関連部署との連携や情報収集、啓発活動に取り組んでいます。

この他、個人情報保護、最低賃金制度を含む労働関係法令の遵守、強制労働・児童労働の禁止、人権の尊重、地域的・文化的な差異や多様性への配慮、全てのハラスメントの禁止、人種・宗教・性別・年齢・国籍・出身・障がいの有無等に基づく差別の禁止、採用における機会均等、公平な開示、独占禁止／競争に関する法の遵守、環境の保護等を、あらゆる企業活動を行う中で意識して行動し、透明性の向上に努め、定められた事項を誠実に遵守および実行します。また、年1回の法務コンプライアンス学習を実施し、確認テストを全従業員が受験しています。

倫理綱領

私たちは、

1. 「良き企業市民」として、社会から信頼されることをめざします。
2. 内外の法令や社会規範・ルールを遵守し、社会的良識に基づいて行動します。
3. 健康・医療に携わるものとして、安全・安心を最優先に、商品・サービスを提供します。
4. お客様やお取引先をはじめ、広く社会と健全で公正な関係を築きます。
5. 人権を尊重するとともに、差別や嫌がらせのない明るい職場を作ります。
6. 公私の別を明らかにし、社会的良識に反する接待や贈答は受けません。
7. 会社の保有する情報を適正に管理するとともに、適切に開示します。
8. 社会の秩序と安定に脅威を与える「反社会的勢力」との関係は一切排除します。

反社会的勢力への対応

当社グループは、反社会的勢力との関係を完全に遮断し、取引や資金提供を一切行わないこととしております。当社グループにおける反社会的勢力排除に向けた体制としては、総務部を統括対応窓口とし、グループ一体となり対応する体制を構築しております。また、店舗を管轄する警察署、警視庁管内特殊暴力防止対策連合会、弁護士及び株主名簿管理人等の外部機関との情報交換や各種研修会への参加等により連携を強化し、社内啓蒙を行うなど社内体制の強化に努めております。

なお、反社会的勢力からの不当な要求に対しては、直ちに管轄警察へ情報提供し、顧問弁護士等の外部機関と連携して組織的に対処します。

個人情報保護

個人情報保護に関する適切な管理

ココカラファインは、お客様やお取引先様をはじめとする皆様からお預かりした個人情報保護の重要性を認識した上で、「個人情報保護方針」を制定し、「おもてなしNo.1」企業として、皆様にさらなる安全・安心をお届けできるよう、全従業員で個人情報の保護に取り組んでいます。

1. 個人情報保護の管理体制

ココカラファインは、個人情報の保護に関する責任者である「個人情報保護統括責任者」のもと、個人情報の保護について現場と一体となった管理体制をさらに強化し、また、個人情報保護の観点に照らして適宜見直しを図っていきます。

2. 関係法令等の遵守徹底

ココカラファインは、個人情報の保護に関する法律その他関係法令ならびに各種ガイドラインの遵守状況について、現場への周知徹底を適宜確認し、全従業員への周知徹底を図っていきます。

3. 従業員に対する教育研修の徹底

ココカラファインは、個人情報の保護について教育研修を強化し、従業員一人ひとりに至るまで徹底を図っていきます。

4. 安全管理措置の強化

ココカラファインは、情報システムに対する安全管理措置だけでなく、個人情報が記載された書面に対する安全管理措置について、現場を含めた更なる強化を図っていきます。

内部通報制度の活用

ココカラファインは、主にコンプライアンスの遵守を目的として、企業内の不正や法令違反の通報を受け付ける内部通報制度を設けており、人権や差別に関する情報、業務や職場環境を含めた改善提案なども積極的に受け付ける方針です。通報相談窓口としては、客観性を担保するため、外部専門会社を窓口とする「リスクホットライン」を設け、社内の自浄作用による問題の早期是正を図っています。なお、当該制度はその実効性向上を目的として、社内従業員のほか、外部取引先の方も利用できるものとしています。また社内には、従業員満足を高めるための「ES (Employee Satisfaction) 相談窓口」を設けています。

II. 人権・労働慣行



従業員の働きがい

- 人権・労働慣行に関する基本方針
- 従業員の人権・労働環境の保護
- 従業員の労働安全と働きがいの促進
- 地域社会に必要とされる人材育成
- 従業員の健康増進に向けた取り組み

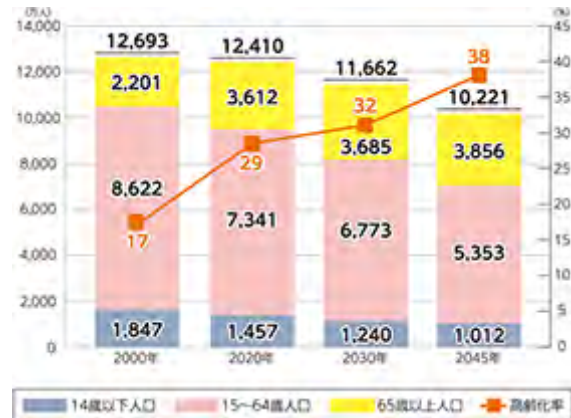


人権・労働慣行に関する基本方針

ココカラファインで働く全ての従業員が、最大限活躍できるように支援し、従業員にとって魅力的な職場をつくることに取り組んでいます。パートナー（パートタイマー）、アルバイト、育児のための短時間勤務者など様々な就労形態の従業員がおり、このような多様な働き方を支援することが企業としての責務であると考えています。

こうした取り組みによって、生産年齢人口の減少が見込まれる中、多様な人材を確保するとともに、全く新しい考え方を取り入れて新たな価値を生み出し、企業の競争力強化につなげていきます。

生産年齢人口割合の推移



出典：国立社会保障・人口問題研究所

従業員の人権・労働環境の保護

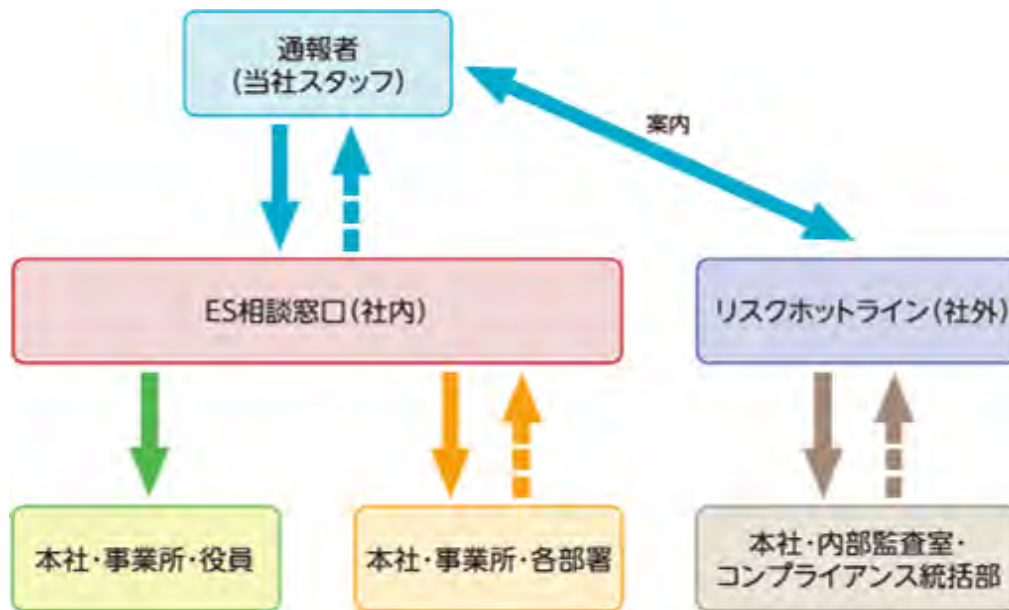
従業員（ES）相談窓口の設置

業務に対する従業員からの問い合わせ・要望・不満などの声を受け付ける、気軽に利用できる社内相談窓口を設置。事務所、店舗へのポスター掲示などを通して制度内容の周知と窓口の案内を行ない、いつでも・誰でも・相談できることをアピールしています。相談内容は、匿名での受付も可能です。

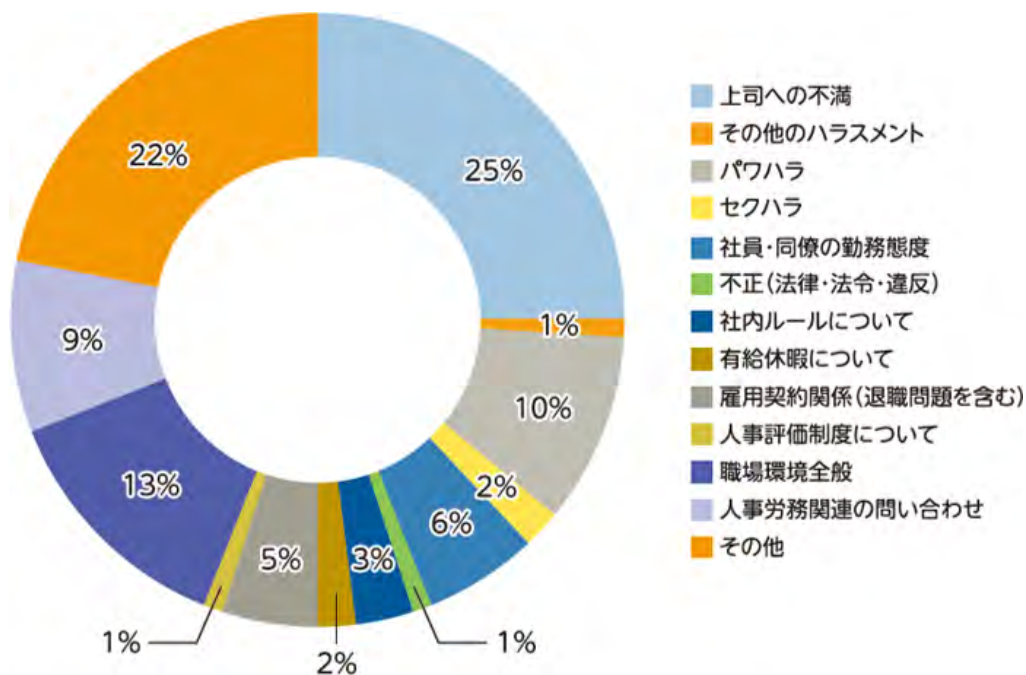
また、さまざまな相談に適切に対応するため、他の窓口への案内基準表を作成し、より専門的な対応が必要と判断した際は社外窓口を案内するなど、柔軟に対応しています。

2020年度は138件の相談を受付、対応しました。

相談の流れ



2020年度相談件数



CFリスクホットラインの設置

ES相談窓口へは相談しにくかったり、より専門的な相談を受けたいという場合に、匿名での通報などを受け付ける外部相談窓口を設置し、相談者が相談しやすい環境づくりに努めています。

人権教育の実施

新卒・中途採用とも、入社時に講義形式によるコンプライアンス研修を行なっています。また入社後も、各種研修にて継続的にコンプライアンス研修を行なうとともに、いつでも学べるeラーニング研修も実施しています。行動規範研修をはじめ、各種関係法令の遵守、ハラスメントの防止、個人情報保護、インサイダー取引の防止など、行動規範に基づく重要なテーマを取り上げています。

公正な評価・処遇

個々の従業員の能力を最大限に引き出し、公正な評価を実現することを目的に、自己評価を起点とする人事評価制度を設けています。従業員自身の評価後、上長が評価・面談を行なっています。これにより、従業員が自らの成果や長所と課題を把握し、評価の透明性・公平性を確保しています。

健全な労使関係

ココカラファインでは、労働三権（団結権・団体交渉権・団体行動権）を尊重しています。労働組合「ココカラファインユニオン」は約9,000名の組合員を擁し、雇用者に占める組合員の割合は50%以上。これら組合員から意見をしっかりと吸い上げ、職場環境改善、生活水準向上、会社の発展を目的とした議論を行っています。毎月の労使協議会や団体交渉を通じ、諸問題の改善を図っています。

従業員の労働安全と働きがいの促進

労働安全衛生への配慮

安全で働きやすい職場環境の維持・向上に向けて、安全衛生委員会を設置しています。長時間勤務の防止、有給休暇取得の推進、社員の職場環境改善要望の検討、ストレスチェック及び改善策の実施、産業医による健康セミナーの実施等幅広い取り組みを行なっています。直近では、産業医による社員向け講習会として『高次機能障害と認知症（2017年度）』『就労とがん（2018年度）』を開催しました。



有給休暇取得日数推移（一人平均）

平均残業時間推移（一人あたり）

労働災害発生件数推移

従業員満足度調査の実施

約1万7千人の従業員と対話を図り、意見を募るための一つの方法として、定期的にES（従業員満足度）調査を実施しています。職場環境や日々の業務内容、組織運営などへの意見を集約し、調査結果をもとに、職場環境の改善、業務の効率化などを図っています。

表彰制度

ココカラファインでは、従業員の士気向上につなげるため、独自の表彰制度を設けています。

お客様のお褒めの言葉をもとに、月ごと、半期ごとに社員の表彰を実施し、おもてなしの好事例を水平展開しています。



ココカラゲン木
表彰された従業員の名前・店舗・表彰内容を掲載。1年で満開になります。

永年勤続表彰

ESの向上と若手人材の定着につなげることを目的に、永年勤続表彰の制度を設けています。勤続満10年・20年・30年を迎えた正社員・特別契約社員、また勤続満10年を迎えたパートナーを表彰し、報奨金と特別休暇を付与しています。

2020年度表彰対象者

正社員	30年勤続表彰	28名
	20年勤続表彰	125名
	10年勤続表彰	221名
パートナー	10年勤続表彰	47名

女性の活躍推進

当社グループでは200名以上の女性店長・薬局長が店舗業務に従事しています。さらなる女性店長・薬局長の登用を促進するために「チャレンジ店長・薬局長」を推進するなど、優秀な女性管理職の育成、登用に取り組んでいます。

また、女性の活躍推進を目的として、子育てに関する会社制度などをまとめた「コドモとココカラBOOK」の作成や育児休業者への復職支援を行なうなど、女性が継続的に活躍できる環境を整えています。

これらの取り組みが評価され、ココカラファインは「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づき優良な企業が認定される「えるぼし」認定において、最高位である3段階目を取得しました。



育児支援制度の充実

パートナー（パートタイマー）を含む従業員が、育児をしながら働き続ける事ができるよう、育児支援制度を整備しています。

育児休業期間を最大で子供が2歳になるまで延長可能とし、育児短時間勤務制度は子供が小学校6年生になるまで延長できるなど、法定水準を超える制度を運用し、子育てを行なう従業員を手厚く支援しています。

また、社内や商品知識など、最新の情報を確認することができるよう、育休中もeラーニングで学習できる環境を整えています。

男性の育児休業取得をサポート！

当社では、男性の育児と仕事の両立を多様な働き方の一つとしてとらえ、男性の育児休業の取得を推進しています。

初めて育児休業を取得しようとするパパに向けて「コドモとココカラBOOK～男性の育児応援編～」を作成し、男性向けの育児休業制度（パパ休暇・パパママ休暇）の取得方法や気になるお金のことなどをテーマに、これからパパになる人に役立つ情報を幅広く発信。育児休業を取得した先輩パパの体験談・メッセージも紹介しています。

この取り組みにより、2020年度の男性の育児休業取得者は19名となり、前年比で200%以上増加しました。



定年退職者再雇用制度を整備

当社は、本格的な高齢社会の到来に対応すべく、豊富な経験があり、スペシャリティを持った人材の再雇用を行なっています。

2013年4月に「再雇用制度」を導入。原則として、最長65歳まで雇用を継続しています。また、再雇用にあたっては、業務も本人の希望や適性をふまえて決定しています。「年齢に関係なく、地域に根差し、生涯現役で活躍できることが理想」とし、再雇用者にも「目標管理シート（評価制度）」を適用することで、モチベーションの維持・向上を図っています。

また、2013年4月から、パートタイマー（パートナー）に関しても原則として65歳まで働くことができる制度を導入しました。多くの方が、この制度を活用して勤務しています。



障がい者雇用の促進

当社は、誰もが活躍できる職場づくりを理念に掲げ、障がいのある方が力を発揮できる職場づくりに取り組んでいます。多様な人材がその能力を発揮できる新しいワークスタイルを創造し、企業や社会に事業を通じて貢献していける環境を整備するとともに、障がいのある方の雇用促進と、これらの人材が活躍できる場のさらなる拡大を目指して、2014年12月にココカラファインソレイユを設立、2015年4月に特例子会社※1の認定を取得しました。2021年3月現在、全国10拠点で121名の障がい者スタッフを雇用しています。今後も地域社会の障がい者雇用促進に貢献していきます。

優良な中小事業主に対する認定制度（もにす）に認定

ココカラファインの特例子会社※1であるココカラファインソレイユは、2020年12月24日、厚生労働省「障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定制度（もにす認定制度）」※2の認定事業主となりました。この制度は2020年4月に施行されたもので、2021年1月時点で東京都内における認定企業は7社となります。



もにす認定通知書



2021年1月26日にココカラファインソレイユ本社で行なわれた、もにす認定授与式の様子
左：東京労働局府中公共職業安定所磯浩之所長
右：ココカラファインソレイユ金本優一社長

※1 特例子会社

「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づいて、障がい者の雇用について特別な配慮を行ない、一定の要件を満たしたうえで厚生労働省の認可を取得した会社。

特例子会社ココカラファインソレイユの事業内容はこちら <https://soleil.cocokarafine.co.jp/business.html>

※2 もにす認定制度

障害者雇用の促進および雇用の安定に関する取り組みの実施状況などが優良な中小事業主を厚生労働大臣が認定する制度。制度名は「ともにくすむ」という言葉に由来し、企業と障がい者が共に明るい未来や社会に進んでいくことを期待して名付けられた。

障がい者の活躍

主に店舗で、清掃作業や商品期限チェック業務のサポートをしています。

また事務作業として、書類の仕分け作業や社員用の名刺作成、研修資料印刷業務などを実施。このほか、物流センター（埼玉県所沢、神奈川県厚木、愛知県小牧の物流センター）では返品仕分け作業などでそれぞれ活躍しています。



事務所：店舗日報整理作業



店舗：期限チェック



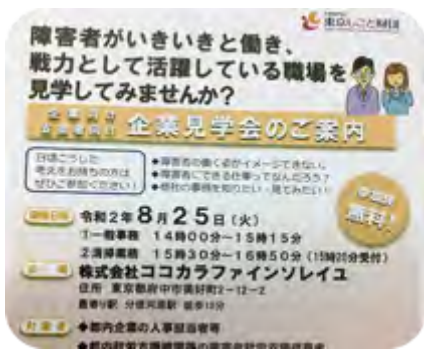
駐車場：清掃作業

障がいを持つ方も働きやすいよう工夫された仕分けシステム



企業向け・支援者向け企業見学会を開催

ココカラファインの特例子会社であるココカラファインソレイユは、障がい者雇用にお困りの他企業様や支援機関を対象に、府中本社にて企業見学会を実施しています。公益財団法人東京しごと財団ご協力のもと、ハンディキャップを持った方が実際に活躍している様子を、雇用に携わる人事の方々に見学いただいています。2020年は年間10回開催し、大きな反響をいただきました。今後も障がい者雇用に関する地域のロールモデルとして活動していきます。



見学会のチラシ



会社説明の様子



会社見学会の様子

新潟市「障がい者雇用にいがた企業探訪」でココカラファインソレイユの取り組みが紹介されました

「障がい者雇用にいがた企業探訪」は、新潟市で作成している冊子です。障がい者の就労・雇用について積極的かつ先進的な取り組みを行なっている市内の企業を訪問取材し、雇用の経緯、ノウハウ、制度活用など活きた情報を広く周知・啓発することで、地域全体で取り組みを促進することを目的としています。ココカラファインソレイユの信越事務所が新潟市内にあることから、今回、取り組みを紹介いただきました。



健康経営への取り組みも積極的に推進

常日頃からリーダーや事務所責任者が障がい者スタッフの身体面、精神面に配慮し、声掛けやアドバイスを行なっています。事務所の健康づくり担当者が中心となり、朝礼時のラジオ体操や、カロリー摂取などに関する注意喚起ポスターの掲示、健康診断の受診率向上への取り組みなどを行ない、必要であれば特定保健指導を受けることも促しています。



見落としがちな飲みものごとのカロリー量を紹介したポスター



朝礼時のラジオ体操

■ 地域社会に必要とされる人材育成

当社のミッション「社会に必要とされる優れた人材育成」の達成に向けて、当社の求める人材像を定め、次の能力を発揮できる人材を育てています。

ココカラファインの求める人材像

当社が求める人材は「しなやかな感性力」、「多様性への融合力」、「やり切る実行力」を持ち合わせている人材、またはこの中のどれかで突出した能力を持っている人材です。

「しなやかな感性力」

社会やお客様、お取引先様、同じ目的をもって働く仲間たちが求めるものに気付き、また変化する社会や環境に対応するための「感性」を持っていること。

「多様性への融合力」

自分とは異なる意見や考え方を受け入れながら、より良い選択のために議論を進め、お互いを高め合うことができること。

「やり切る実行力」

組織における使命や自分自身が設定した目標に対し、責任と誠意をもって遂行・達成することができること。目標達成には、時と場合に応じて「しなやかな感性力」と「多様性への融合力」も必要となります。

キャリアパスと体系的な教育体系

当社では「社会に必要とされる優れた人材を育成する」というミッション達成のために、人材教育と業務教育の2軸を基本に、人材育成に取り組んでいます。当社が実践する「おもてなし」の基本能力を育むため、研修は「講義形式」に加え「ディスカッション形式」での研修比率を高めています。自分とは異なる意見の中から、気付き、学び、結論を導き出す過程を重視し、店舗で生かせる「おもてなしの実践」に主眼をおいています。また、どのような環境下においても研修を継続できるよう、双方向でのオンライン研修を導入しています。

人材育成ビジョン「cocokara Way」

	ドラッグ事業本部			調剤事業本部		
部門長	管理職					
エリア長	管理職					
地区長	管理職					
統括店長	統括店長教育			統括薬局長教育		
店長Ⅱ	店長教育	ヘルス上級	ビューティ上級	薬局長教育	薬剤師上級	PhA上級
店長Ⅰ	店舗運営中級	ヘルス中級	ビューティ中級	店舗運営中級	薬剤師中級	PhA中級
	店長コース	ヘルスクアコース	ビューティコース	薬局長コース	薬剤師コース	フェーマシーアダンタント(PhA)コース
3年目	ベーシック研修Ⅲ					
2年目	ベーシック研修Ⅱ					
1年目	ベーシック研修Ⅰ					
入社	新人教育研修					

一方、自己学習の強化にも取り組んでいます。新商品、シーズン商品の早期の情報収集、知識習得を目的に、正社員、資格者（薬剤師、登録販売者）を対象とし、Web環境を利用するeラーニングを導入しています。OJT（職場内教育）に偏ることなく、Off-JT（集合教育）、自己学習の3つのバランスをとることで、従業員全体のレベルアップを図っています。

グローバルな人材雇用・育成

グローバルな人材を雇用することを目的として、留学生の就職活動の支援を行なっています。

■ 従業員の健康増進に向けた取り組み

社内体制

健康経営担当役員を中心とした月に1回グループ会社全体の会議『健康経営部会』を実施。従業員の健康課題の把握と必要な対策の検討やワークエンゲージメントの向上、当社のめざす「ココロ、カラダ、ゲンキ。」のための身体の健康づくりに向けた企画などを実施しています。

健康経営の取り組み～ココカラヘルスキャンペーン～

ココカラファインは、「ココカラヘルスキャンペーン」として、全従業員が生き活きと働き続けられる環境づくりに向けた取り組みを進めています。このキャンペーンは、従業員の健康に関する専門知識を深めるとともに、疾病予防や早期治療に向けた仕組みづくりなどにさまざまな形で投資するものです。

2020年度実施内容

(1)感染症対策

新型コロナウイルス感染拡大にともなう第1回目の緊急事態宣言中には、災害備蓄用のマスクを従業員に配布し、店舗に飛沫予防シート設置・出入口の消毒液を設置・抗菌コートの資材を使用するなど、感染防止策を実施。また、免疫力低下防止をめざして飲料やエナジードリンクを配布しました。

このほかにも、全店・全事務所に手洗い啓発ポスターを掲示し、毎年感染症の流行する時期には、グループ全体で「正しい手洗い」を励行しています。また、インフルエンザワクチンの接種を希望する全従業員を対象に、費用の全額を負担しています

これらに加えて、2021年度からは新型コロナワクチン時間休暇制度を設定しました。

(2) 自社管理栄養士による特定保健指導

健康診断などで高リスクと判定された従業員の重症化予防の一環として、自社管理栄養士による特定保健指導を2020年3月から実施しています。直接面談以外にもオンラインを活用したWEB面談や、社内連絡イントラによる双方向コミュニケーションなど、管理栄養士が対象者の状況を随時確認できる状況を整備し、実効性の高いプログラムを実施しています。

(3) 禁煙への取り組み

全国の事業所・店舗・施設の敷地内を全面禁煙とし、希望する社員には禁煙補助剤を提供して、禁煙状況を定期的確認するなどのフォローを行なっています。また、大学教授などの専門家や禁煙外来を開設している病院の医師を講師として招き、社内講習・講座を実施するほか、オンライン学習講座も開催。受動喫煙を中心に、喫煙による健康被害について学ぶ場を設けています。

(4) 女性の健康維持・増進に関する検査とWEBセミナー

ゆらぎ世代[※]を主な対象として、希望者全員に、体内での女性ホルモン類似物質生産の有無を検査できるキットを配布。またその検査結果をもとに、誰しも訪れるゆらぎ時代を少しでも楽に迎えられるよう、心構えや具体的な対策について発信するWEBセミナーを実施しました。

※ ゆらぎ世代

女性において、体内のホルモンバランスが変化し、心身に影響が見られはじめる40代～50代ごろの年齢層

(5) 食生活の改善施策

希望者を対象に、「野菜不足改善選手権」を開催。血中カロテノイドの検査を実施し、栄養士による食事のアドバイスを行なうとともにサプリメントを配布。1カ月間にわたって食事内容の改善に努めてもらいました。この結果、参加者の8割が、食事への意識改善・血中カロテノイドの数値改善を達成しています。

(6) 運動実施者へのサポート

新型コロナウイルス感染拡大に伴う社内クラブ活動の中止を受けて、所属メンバーがしっかりと自主トレーニングに取り組めるよう、サプリメント（プロテイン）を配布。普段よりも筋力トレーニングを強化してもらい、また体重・筋肉量・体脂肪率などを計測してもらうことで、成果を見える化しました。

(7) 睡眠時無呼吸検査

希望者に対して睡眠時無呼吸の検査を実施し、就寝時1時間あたり20回以上呼吸が止まっている従業員に対しては睡眠相談を行なうほか、睡眠専門外来も紹介しました。またスマートウォッチで睡眠の深さを測る検査も実施。睡眠時の環境などを工夫するだけでなく、日中のストレスを軽減するなど、睡眠の質向上に役立つ生活習慣改善のアドバイスを実施しました。

健康経営優良法人2021に認定

2017年から会社全体で従業員へ向けた健康増進の取り組みを実施してきた結果、2019年にココカラファイン・ココカラファインヘルスケアが健康経営優良法人ホワイト500に認定。さらに2020～2021年には、ココカラファイングループ全体として健康経営優良法人に認定されました。



Ⅲ. 環境

12 循環型社会の構築
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさも守ろう

私たちの地球を守っていく

- 環境対策について
- CO2の排出削減
- 資源の有効活用
- 3Rへの取り組み

レジ袋の無料配布も
3月31日(火)を
もちまして終了いたします。

レジ袋の配布削減による
省資源の取り組みに
ご協力お願いいたします。

お買得袋のご持参に
ご協力お願いいたします。

お買得袋のご持参に
ご協力お願いいたします。

環境対策について

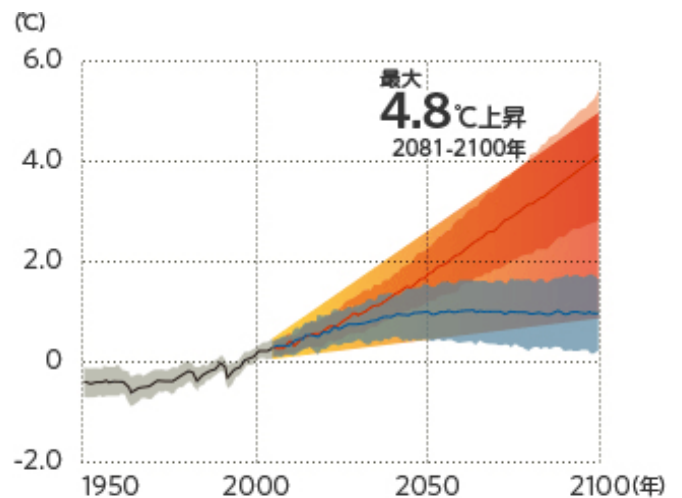
地球環境を保全し、豊かで美しい自然環境を次の世代に受け継ぐことが人類共通の課題であり、ココカラファインにとっても重要な使命であると考えています。地球環境を保全しながら企業活動を進めていくため、お客様、お取引先様、地域社会など様々なステークホルダーと協力し合いながら、事業活動での環境負荷低減、本業を通じた環境保全に全社をあげて取り組んでいきます。

特に地球温暖化の防止は大きな課題のひとつであると認識し、温暖化の主因である二酸化炭素の排出削減に積極的に取り組みます。

CO₂の排出削減

地球規模の問題である環境問題、特に気候変動の問題は、海水面の上昇や異常気象の増加、農漁業への影響など、将来世代まで影響のおよぶ重大な脅威です。IPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の報告では、地球温暖化により、最悪の場合2100年には気温が4.8℃上昇するとされており、その主たる原因はCO₂によるものとされています。我々はCO₂を重要な環境要因と位置づけ、排出削減に努めていきます。

地球の気温上昇予測

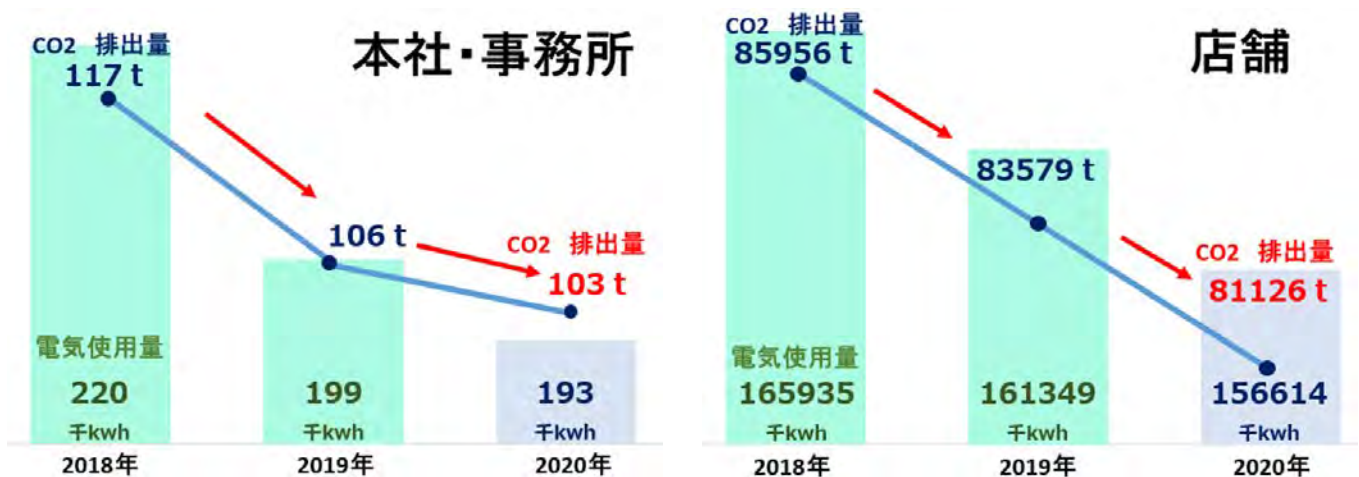


RCP 8.5
高位参照シナリオ
(世紀末の放射強制力8.5W/m²)
2100年における温室効果ガス排出量の最大排出量に相当するシナリオ

RCP 2.6
低位安定化シナリオ
(世紀末の放射強制力2.6W/m²)
将来の気温上昇を2℃以下に抑えるという目標のもとに開発された排出量の最も低いシナリオ

出典：IPCC「第5次評価報告書」 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト
(<http://www.jccca.org/>)

マテリアルフロー



注1：(株)ココカラファイン・(株)ココカラファインヘルスケアを対象に算出（岩崎宏健堂は除く）

注2：2018年度 2017年4月～2018年3月
2019年度 2018年4月～2019年3月
2020年度 2019年4月～2020年3月

店舗における環境負荷低減

環境負荷の低減のため、新規店舗の天井・棚下・冷蔵什器・外部看板などあらゆる光源において、LED照明を積極的に採用し、既存の店舗についても改装時に入れ替えを行なっています。

また、エアコンの設定温度に制限を設ける、店舗バックヤードの消灯や営業時間外の照度を抑えるなど、無駄な照明を抑えることで環境負荷低減に努めています。2020年度から、本社エアコンの稼働時間を2時間短縮するよう設定を変更しました。今後もさらなるCO₂削減に取り組んでいきます。

環境に配慮した商品製造過程

プライベートブランド商品の製造過程で、海や川、山などの自然環境に及ぼす負荷をどのように認識・把握し、どのような配慮や対策をしているかを確認するため、定期的に工場監査を実施しています。

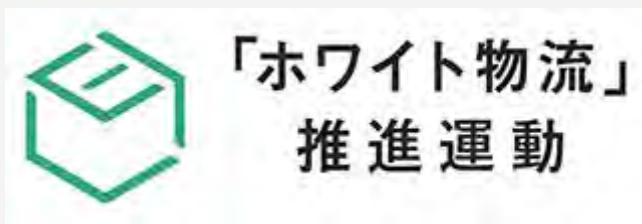
物流の改善

持続可能な物流を目指して

物流機能子会社ココカラファインフリユアヴァンスを2019年10月に設立。物流危機が社会問題化するなか、物流センターを自社運営することで、効率化と持続可能性の確保の両立を図っています。人々の健康や便利な生活を支える企業として、ココカラファイングループ全体のサプライチェーンマネジメントの持続可能性向上に努め、今後もさまざまな取り組みを進めていきます。

「ホワイト物流」推進運動に賛同

ココカラファインフリユアヴァンスは、持続可能な物流への取り組みの一環として、2021年1月、「ホワイト物流」推進運動に関する自主行動宣言を行ないました。この方針のもと、さらなる物流の持続可能性向上に努めます。



※ 「ホワイト物流」推進運動

トラック運転者不足が深刻になっていることなどをを受けて、国民生活や産業活動に必須のものである「物流」の安定を図るとともに、経済の成長に役立つことを目指し、以下に取り組む運動。

- ・トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化
- ・女性や60代の運転者等も働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現

取り組みについては3つの必須項目と、6カテゴリ28項目の推奨項目が設定されており、運動に参加・賛同する企業は、推奨項目から何に取り組むかを選んだうえで自主行動宣言を行なう。

<https://white-logistics-movement.jp/flow/>

選択した推奨活動項目と取り組み内容

- A-1：物流の改善提案と協力
取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、付帯作業の合理化などについて要請があった場合は、真摯に協議に応じます。また、自らも積極的に提案します。
- A-2：予約受付システムの導入
トラックの予約受付システムを導入し、荷待ち時間を短縮します。
- A-3：パレット等の活用
パレット、カゴ台車、折りたたみコンテナ、通い箱などを活用し、荷役時間を削減します。
- A-16：検品水準の適正化
検品方法や返品条件など、検品水準の適正化に関する提案が取引先からあった場合は、真摯に協議に応じます。また、自らも積極的に提案します。
- D-1：荷役作業時の安全対策
荷役作業を行う場合には、労働災害の発生を防止するため、安全な作業手順の明示、安全通路の確保などの対策を講じるとともに、事故が発生した場合の損害賠償責任の明確化を図ります。
- D-2：異常気象時等の運行の中止・中断など
台風、豪雨、豪雪等の異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際には、無理な運送依頼を行いません。また、運転者の安全を確保するため、運行の中止・中断などが必要と物流事業者が判断した場合は、その判断を尊重します。

■ 資源の有効活用

ココカラファインは国内で1,400店を超えるドラッグストア・薬局を運営し、多くの商品・サービスを取り扱っています。そのため、ココカラファインの事業活動により消費するエネルギーや廃棄物を削減することは、持続可能な社会の実現に向けて大きな影響を持つと考えています。

またエネルギー、廃棄物の削減はコスト削減につながり、ココカラファインにとっても大きな価値があるため、積極的に取り組んでいきます。

廃棄商品の削減

自動発注システムによる適正な在庫管理や、期限切迫商品の廃棄前見切り販売を行なうなど、商品の廃棄量の削減に努めています。

資材の再利用、適正利用

店舗の改装や閉店の際、不要になった陳列棚や什器を廃棄せずに整備し、他店舗で再利用しています。

また、「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（容器包装リサイクル法）」に則り、容器の再商品化に努めています。

■ 3Rへの取り組み

レジ袋の有料化

プラスチックごみは、その多くがリサイクルされずに環境破壊の一因となっています。ココカラファインは、これからの地球を自分たちで守るために、まずは自分たちでできることから取り組んでいきたいと考えています。2020年4月から開始したレジ袋有料化がお買い物袋の持参促進の一助となり、プラスチックごみの削減が進むことを願っています。お客様・患者様と共に、持続可能な世界の実現に向けて取り組んでいきます。お客様のご協力により、2020年4月1日から2021年3月31日までのレジ袋使用量は、前年比マイナス83.9%という結果となりました。

環境省Re-styleへの取り組み

2019年より、環境省の取り組み「Re-style」のパートナー企業となり、循環型社会の構築に向け、3R（Reduce、Reuse、Recycle）に取り組んでいます。

【Re-styleパートナー宣言】

- Re-Styleのコンテンツ企画を積極的に発信します！
- 「3R推進月間」において、積極的な活動を実施します！
- 「選ぼう！3Rキャンペーン」に参加します！
- Re-Style商品を積極的に発信します！
- 自社事業において、3Rの理解と取り組みを促進します！
- 循環型社会の構築に向けた取り組みを支援します！



「Re-style」キャンペーンチラシ



「Re-style」商品の売場展開の例

IV. ビジネスパートナーとの協働

公正な関係性を目指す

- ビジネスパートナーと共に
- 反社会的勢力への対応



12 ココロを豊かに
つかり責任

16 信頼と公正を
すべての人に

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

私たちはビジネスパートナーと適切かつ強固な協働関係を結ぶことが、持続的な事業運営に必要であると考えています。「ココカラファイン倫理綱領」に、「法令や社会規範・ルールを遵守し、社会的良識に基づいて行動すること」、「広く社会と健全で公正な関係を築くこと」、「反社会的勢力との関係の一切排除」を定め、社員の倫理観を醸成しています。

■ ビジネスパートナーと共に

ココカラファインは、市場競争力の高い商品・サービスを提供していくと同時に、高い倫理観に基づく公正な事業活動の実践を心掛けています。

従業員一人ひとりの倫理観を醸成していくだけでなく、ビジネスパートナーとの良好な取引関係の構築に注力していきます。

商談ガイドラインの策定

健全な取引に基づく信頼関係の構築のため、商談時の遵守事項をまとめた商談ガイドラインを策定するなど、優越的地位の濫用防止のためのルールを策定し徹底を図っています。

製造委託先との公正な取引

プライベートブランド等の製造委託先の選定、取引条件や価格の設定などを公平性・透明性のある話し合いで合意、決定してその記録も残しています。

製造委託先との協働により、公正で良好な取引関係を継続、発展させることで、より良い品質の商品をお客様にお届けしています。

ビジネスパートナーからの声

公正で良好な取引関係の確保に向けて、取引等におけるビジネスパートナーからの疑問やご意見をお受けする窓口を第三者機関に設置し、寄せられた声に対して速やかに改善を図っています。



会員組織「CF会」

ビジネスパートナーとの強固な協働関係を築くことが、厳しい市場環境を勝ち抜く競争力になると考え、双方が対等な立場で参加する会員組織「CF会」を発足し、年1回の総会を開催しています。この総会はココカラファインの経営方針や営業方針を共有し、ビジネスパートナーがココカラファインの活動を介して社会への貢献やお客様へのご提案をどのように行なっていくかを一緒になって考える、とても重要な場となっています。

反社会的勢力への対応

当社グループは、反社会的勢力との関係を完全に遮断し、取引や資金提供を一切行わないことを定めています。

体制整備

コンプライアンス統括部を統括対応窓口とし、総務部と連携し、グループ一体となり対応する体制を構築しています。また、店舗を管轄する各警察署、警視庁管内特殊暴力防止対策連合会、弁護士および株主名簿管理人等の外部機関との情報交換や各種研修会への参加等により連携を強化し、社内啓発を行うなど社内体制の強化に努めています。

なお、反社会的勢力からの不当な要求に対しては、直ちに管轄警察に情報提供し、顧問弁護士等の外部機関と連携して組織的に対処します。

ルールの策定

反社会的勢力に対応する規程・マニュアルを制定し、定義や義務、所管部署や、反社会的勢力の定義や対応体制の整備、実際の対応方法について細かく定めています。また、ビジネスパートナーすべてと、反社会的勢力との関係がないことを確認する書面を取り交わし、既存取引を発見した場合には速やかに解消します。また、新たな取引を検討する場合には、取引開始の手順に従ってチェックを実施し、取引候補先が反社会的勢力に該当するか否かの確認を行ない、万一該当した場合には取引を回避しています。

お客様への対応

V. お客様への対応

お客様の健康と生活の向上を目指す

- おもてなしNo.1の実現に向けて
- お客様が買い物しやすい環境づくり
- 全国の店舗レベルの統一と向上
- お客様のニーズを満たす商品の開発
- 健康を増進する薬局を目指して
- 超高齢社会への対応



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



8 働きがいも経済成長も



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



17 パートナリシップで目標を達成しよう



■ おもてなしNo.1の実現に向けて

私たちは、コーポレートスローガン「おもてなしNo.1になる」の実現に向けて、お客様相談センターなどに寄せられたお客様の声や、社内外の調査機関を利用したお客様目線での店舗チェックを活用し、店舗の改善や様々な取り組みの高度化を図っています。

お客様の声を集め、活用する仕組み

多様化するお客様のニーズを把握するため、「お客様相談センター」や「社長直行便」ハガキを設置しており、年間約4.3万件のご意見が寄せられています。また、ココカラ公式アプリには、お客様が当社への評価を投稿できる「評価機能」も実装しており、アプリを通じて約42万件のご意見が寄せられています。

時代や情勢によって変化お客様の声を収集するため、ご意見を内容ごとに振り分け、記録するデータツールの更新も行なうなど、細かな変化を見逃さず対応できる仕組みづくりに注力しています。

この他、社外機関を利用したミステリーショッパーや、店舗監査を行う社内機関のスーパーバイザー（SV）による、全店統一マニュアルの遵守状況や店舗サービスレベルの評価を行なっています。

こうして集めた客観的評価から課題を抽出し、「すぐにできること」「時間やコストをかける必要があること」など内容を精査・分類して優先順位をつけ、お客様にとってより良い店舗造作や接客接遇のための改善を進めています。

お客様の声を経営に活かす仕組み

当社に寄せられたさまざまなお客様の声をもとに、その要因分析、改善提案事項の該当部署への共有と、改善に向けた協働を行なっています。

多くの方からいただいているご意見を接客・接遇シート（マニュアル）に反映したり、お褒めの声を共有することで、喜ばれる接客・接遇とは何かを共有し、直ぐに現場に活かせる仕組みとしています。

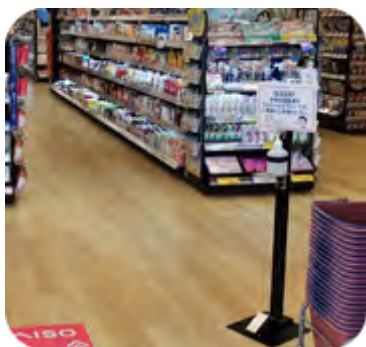
また、店舗や会社全体で改善していくべき新たな課題を発見・抽出し、現場は勿論のこと、経営陣にも共有して対応しています。

■ お客様が買い物をしやすい環境づくり

私たちは、お客様に「安全・安心」をお届けし、店舗の利便性を高めるために、全社一丸となり【おもてなしベーシック】を推進しています。

店舗づくり

ココカラファインの各店舗では、「段差がなく、滑りにくい床」「大きな文字表記」「ピクトサイン（視覚表記案内）の設置」「ゆとりある通路の確保」などの点に配慮し、患者様・お客様にご利用いただきやすいお店づくりに取り組んでいます。また、さまざまな感染症の予防に向けて、手指用の消毒液スタンドの設置、カウンターでの飛沫防止アクリル板の設置、調剤薬局での感染症対応窓口の開設などを行ない、お客様に安心してご来店いただける環境づくりを推進しています。



店内入口の消毒液スタンド



飛沫防止用アクリル板を設置したレジカウンター



調剤店舗の感染症対応窓口

通販事業の展開

ココカラファインは、時間の都合や体調などにより実店舗へ行けないお客様でも、24時間インターネットで医薬品や化粧品、生活雑貨品などを購入できるように、インターネット通販事業へ取り組んでいます。お客様が安全、安心に医薬品を購入できるように、第一類医薬品の薬剤師チェック機能や症状で選ぶ仕組みなど、独自のシステムを備えています。さらに、いつもご利用いただいている店舗にご希望の商品の取り扱いがない場合でも、ネットで注文して店舗の営業時間内であればお好きなタイミングで商品が受け取れる店舗受取サービスを調剤薬局を含むほぼ全店で実施しています。

また、お客様の症状、お悩み別に医薬品や化粧品、生活雑貨品などをご自身で選んで購入できるよう、おすすめの商品を専門家の解説でご紹介しています。



健康増進情報やお得な情報の発信

お客様の目に触れやすいWebサイトやSNSで、健康に関する情報や感染症対策に関する動画、季節の健康レシピ、日常生活でのお役立ち情報などを発信しています。



■ 全国の店舗レベルの統一と向上

統一マニュアルの整備

「お客様の声」「従業員の声」等を広く意見を収集し、継続した店舗運営マニュアルの新規追加、改訂を行ない、現実現物に則したマニュアルにしています。

また、マニュアルの浸透、徹底を図るべく各関連部署と協働しながら進めています。



お客様の健康増進に向けたスタッフ教育と研修体制の充実

ココカラファインの特徴は、豊富な専門知識と、カウンセリングによる接客販売に重点を置いた付加価値の高いサービスです。お客様・患者様の健康増進や心地よい生活により一層貢献していくため、スタッフの教育体制を充実させています。定期的な研修を行い、医薬品や化粧品に関する専門知識の習得や、登録販売者などの専門資格取得の支援も行なっています。また、双方向の通話が可能なオンライン研修システムを導入し、全国同一の研修を実施するとともに、参加者同士の意見交換も全国規模で出来る体制を整備しています。



基礎教育



集合研修（商品知識）

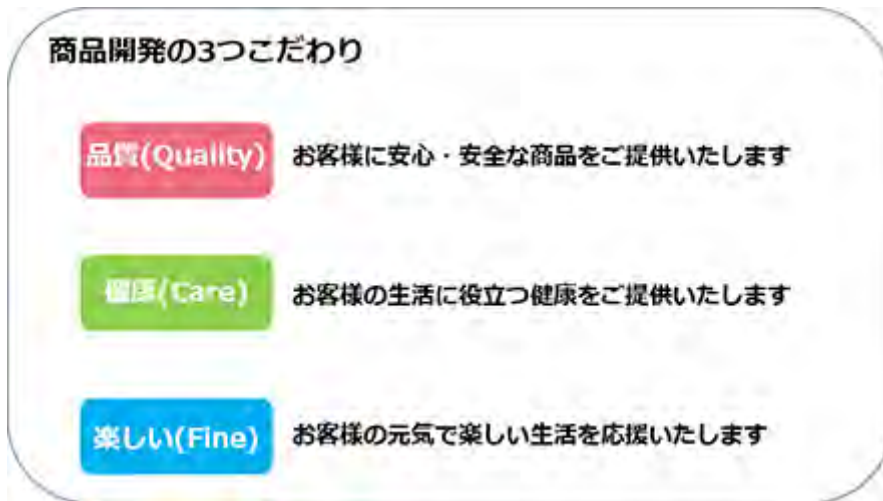


eラーニング

レジ業務資格制度

ココカラファインの店舗では、接客レベルが一定水準に達し、レジ認定項目をクリアしたスタッフのみが、「レジ業務」を担うことができます。全店共通の新規スタッフ導入研修ツールを用いて、レジ業務の研修、チェックを行っています。

■ お客様のニーズを満たす商品の開発



品質 (Quality) : お客様に安心・安全な商品をご提供いたします

品質(Quality)

商品の品質管理

お客様が安心してお買い物ができるよう、当社が取り扱っている商品・サービスの品質管理と保証を行なっています。

プライベートブランド商品の「品質向上」、「ステーキホルダー（お客様、お取引先様、株主様）へ企業品質をご提供すること」を目的に「ISO-9001認証」を取得し、品質維持に努めています。



高機能・高付加価値
肌にやさしいプライベートブランド
『ディアパーフェクト』

工場監査の実施

当社プライベート商品の製造工場であるお取引先に対して、初回生産時および、定期的に監査を実施しています。当社が独自に作成した品質管理体制や生産管理体制等の他、人権や労働環境などのCSRに関わる監査も行なっております（例：工場には15歳未満の者は就業していないか／障がい者雇用や外国人雇用に関すること／従業員が意見や悩みなどを伝える手段の有無／工場操業による自然環境に及ぼす負荷の認識、配慮をしているかなど）。

2021年3月31日までに累計225カ所の工場監査を実施しました。



ISO9001 認証取得

ココカラファインはオリジナル商品のご提供にあたり、「お客様の満足を向上させる」ことを目的として、ISO9001(世界標準の規格)の認定を受けています。商品の品質管理体制、商品管理体制、原料、製造工程などを適宜チェックし、高品質の商品を生産できる体制を維持しています。常に安全・安心な商品をお客様のお手元に届けられるよう努めています。

2019年5月にISO 9001認証「PB商品の開発・生産・管理」を取得し、毎年審査を受けています。2021年4月には「合格・認証継続」を取得しました。



JQA-QMA16035

登録活動範囲：PB商品（医薬品、化粧品、健康食品、日用品、食品等）の開発・生産・管理

健康（Care）：お客様の生活に役立つ健康をご提供いたします

健康(Care)

お客様の日々の健康をサポートする商品の開発

お客様の健康をサポートする、高品質でリーズナブルな商品の開発・提供に務めています。開発に当たっては、「原材料規格書」で安全性を確認し、安全・安心な商品をお届けできるようにしています。

例えば、オリジナルブランドのルイボスティー。ルイボスティーは南アフリカで栽培されているマメ科の針葉樹の葉から作ったお茶で、ノンカフェインなのが特徴です。このためお子様を含めた家族全員で楽しんでいただけるほか、就寝前のリラックスタイムにもオススメです。スッキリとした口当たりなので、女性はもちろん、男性にも人気があります。



楽しい (Fine) : お客様の元気で楽しい生活を応援いたします

楽しい(Fine)

ココロもお肌も楽しく整える化粧品類をラインナップ

ココカラファインの各店舗では、日々のキレイを支え、身も心も健康で楽しく過ごせるような化粧品等を多数ラインナップしています。

2018年には、かねてから取り扱っている「ハトムギ洗顔フォーム」が、本音のコスメ批評誌『LDK the Beauty』2018年2月号にて「コスメ・オブ・ザ・イヤー2017」に選ばれました。ハトムギスキンケアシリーズは、イネ科の一年草「ハトムギ」の種子から抽出したエキス（保湿成分）が配合されており、肌荒れ対策や乾燥肌の方のケアにもおすすめのシリーズです。今後も確かな品質の商品をお届けしていきます。



健康を増進する薬局を目指して

健康サポート薬局とは、かかりつけ薬剤師・薬局の基本的な機能に加え、地域の皆さまの主体的な健康の保持増進を積極的に支援する機能を備え、都道府県に認定された薬局です。ココカラファインは健康サポート薬局を目指し以下の取り組みを積極的に推進することで、地域社会の健康増進に取り組んでいきます。

ココカラファイン薬局では地域の健康に貢献できる「健康サポート薬局」を全国で積極的に増やしています。その数は2021年3月時点で80店舗超とドラッグストア業界ではトップクラスの店舗数であり、現在も毎月ココカラファインの健康サポート薬局が誕生しています。

ココカラファイン

健康サポート薬局

健康サポート機能

国民の病気の予防や健康サポートに貢献

要指導医薬品等を適切に選択できるような供給機能や助言の体制。健康相談受付、介護、行政の紹介。etc.....

かかりつけ薬剤師・薬局

服薬情報の一元的・継続的把握

24時間対応・在宅対応

医療機関等との連携

地域包括ケアシステムの一翼を担い、薬に関していつでも気軽に相談できるかかりつけ薬剤師がいます。etc.....

【地域包括ケアシステム】とは高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、介護・医療・予防・住まい・介護予防・生活支援が一体的に提供されること。

ココカラファインの健康サポート薬局活動報告

健康相談会

健康サポート薬局では定期的に地域の方に向けた、健康相談会を開催しております。お薬に関するだけでなく、季節に合わせた身近なテーマでご相談に応じています。また、11月の世界糖尿病デーはココカラファイン薬局全店で糖尿病関連の商品をご紹介し、糖尿病についての啓発活動を行いました。



【健康相談会 実施例】

- 2018年
- 7月 熱中症対策
- 8月 推奨カロリーと食事
- 10月 塩分チェック/
塩分を減らす食事法のアドバイス
- 11月 風邪予防対策/栄養補給や疲れ対策
- 12月 冬の乾燥対策/保湿・肌荒れ対策
- 2019年
- 1月 風邪やインフルエンザの対処法/
水分補給
- 2月 風邪予防対策/保湿対策



検体測定室

指先から採った、ほんのわずかな血液で糖尿病や脂質代謝異常といった生活習慣病に関係ある項目を測定できます。不規則な生活が続いている方やしばらくの間、健康診断などで血液検査を受けていない方の健康をチェックすることができます。



在宅・地域活動

薬剤師は薬局の外に出て活動する機会も増えてきました。患者様宅や介護施設に訪問し、服薬支援・管理を行います。また自治体の依頼を受け、地域住民に向けて情報発信を行う活動をしています。



「お薬手帳」の啓蒙・活用

「お薬手帳」とは、患者様の薬の服用履歴や、既往症、アレルギーなどの情報を記載する手帳のことです。私たちは、患者様と薬剤師をつなぐコミュニケーション手段として、「お薬手帳」の活用は重要であると考えています。患者様に医薬品の安全性を理解していただき、適切な医療を提供していくため、「お薬手帳」の啓蒙・活用を通じた持参率向上に取り組んでいます。ココカラファインが提供するお薬手帳アプリの累計ダウンロード数は、2021年3月現在34万超と好評をいただいています。これは、全国のお薬手帳アプリと比較しても上位のダウンロード数です。このアプリを紙の手帳に代えて活用いただき、時代に対応した薬局づくりをしています。

「お薬手帳」の必要性

1. 複数医療機関受診などの把握
2. 医薬品の重複服用、相互作用防止
3. 副作用発現の抑制
4. アレルギー歴などの把握
5. サプリメント等との相互作用防止
6. 災害時等の服薬状況把握

無料 ココカラファインお薬手帳アプリ

お薬手帳もアプリが便利な時代です。/



- ★お薬手帳を忘れない
スマートフォンはいつも持ち歩くので、お薬手帳を忘れることはありません。忘れたがらでも取りません。
- ★スマートフォン1台で10名まで登録可能
ご家族のお薬手帳も1つにまとめることができます。
- ★アラーム機能
お薬を飲む時刻になると、アプリがアラームで教えてくれます。
- ★全国の薬局で利用可能
ココカラファイン以外の薬局でもご利用いただけます。
- ★お薬手帳でお薬代が安くなります
お薬手帳を持参すると、持参しなかったときと比べて医療費が安くなるケースがあります。
- ★高水準で安心のセキュリティ環境
NTTコムが提供するアカウントで管理されているため、セキュリティも万全です。

「通知」があってから「薬局」に行くので
待ち時間の負担が少なく、時間の有効活用につながります。

docomo、au、softbankなど
全てのキャリアに対応!

アプリダウンロードはこちらから

ご利用環境
Android4.3以降、またはiOS9.0以降のスマートフォン

Step 1
処方せんをカメラ撮影し、必要な項目を入力するだけで薬局へ送信されます。

Step 2
お茶したり、お買い物も通知が来るまで待ち時間を有効にご活用いただけます。お薬がきたらスマホに通知されるので安心です。薬がきたら、アプリを通じて薬局から連絡がきます。

Step 3
あとは処方せんを持って薬局へ行けばOKです。処方せんを忘れたら、アプリで処方せんを送ります。

調剤スタッフの育成

薬剤師の業務はこれまで、医療機関の処方に基づき患者様に処方薬を提供することが主流でしたが、これからは病気を未然に防ぐための支援を主軸としたコミュニケーションが重要になってきます。患者様の服薬情報や服薬後の体調の変化、食事や運動の実態などを把握し、薬剤師がただ薬を提供するのではなく、生活者の健康コンサルタントとなり、健康管理をサポートすることが求められています。私たちは、地域に必要とされるプロフェッショナルな薬剤師の育成を推進しています。

ジェネリック医薬品（後発医薬品）への取り組み

ジェネリック医薬品とは、特許期間が満了した後に発売される、厚生労働省から「同じ有効成分を同量含み、原則的に同等の効果や効能が得られる」と認められた医薬品です。一般的に開発費用がかからなくなる分、価格が安くなります。ジェネリック医薬品の使用を推進することで、社会全体の医療財政圧迫問題だけでなく、患者様一人一人の医療費の削減につながります。私たちは、安全と効果の検証の確認を十分に行ない、ココカラファイン独自の基準に合致した医薬品を取扱い、ジェネリック医薬品の使用促進を行なっています。

在宅調剤への取り組み

私たちは、病院ではなく自宅で受けられる在宅医療を、病院や薬局への行き来が困難になった高齢者や小児、また難病の患者様が生活の質を確保するための生命線だと考えています。

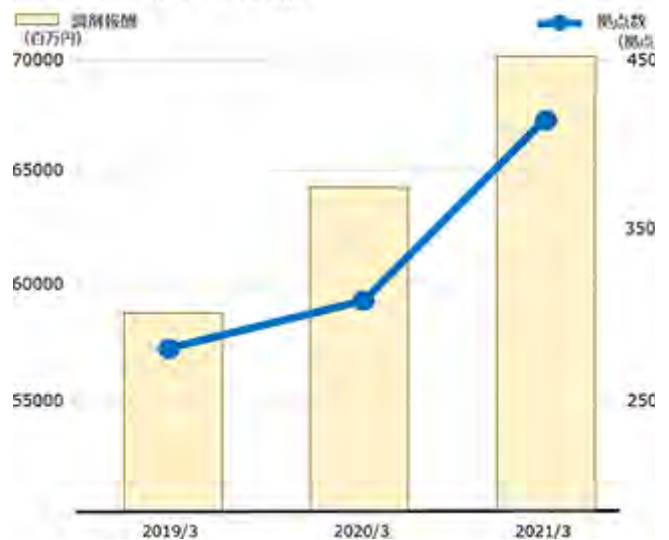
中でも患者様が受ける医療のほとんどは薬物治療であり、薬剤師が在宅調剤で果たすべき社会的役割は非常に大きなものです。そのために無菌調剤室を有する（併設する）薬局もあり、私たちも高度な医療に対応していかなければならないと考えています。

2021年3月時点で、全調剤店舗419店舗中、在宅調剤拠点数は340店舗（前年比141%）となりました。

医師・看護師・介護専門職と連携して、薬剤師による医療のヘルスケアネットワークの構築に向けた取り組みを推進しています。

在宅調剤への取り組み実績

在宅調剤への取り組み実績



「高度薬学管理機能」を持った敷地内薬局づくり

私たちは、高度で専門的な知識が求められる「高度薬学管理機能」を持った敷地内薬局づくりを進めています。病院の敷地内にあるため、患者様にとって利便性が良いことはもちろん、薬の専門家である薬局と医療機関が連携して相互に情報共有しながら、患者さまの薬物治療をサポートしていくことが期待されています。2021年3月時点で2店舗の敷地内薬局を開局しており、2022年3月にはこれを5店舗まで増やす予定です。



遠隔服薬指導

当社はオンライン等による遠隔服薬指導への対応などに積極的にチャレンジしています。

2018年9月から国家戦略特区のひとつ、福岡市にて遠隔服薬指導を開始しています。また2020年4月10日に厚生労働省から出された通知に従い、新型コロナウイルス感染拡大への対応として、様々な医療機関と連携して、患者様への遠隔服薬指導を実施しました。2021年1月にはオンライン服薬指導サービスを調剤店舗に導入し、利用者もじょじょに増えています。今後も未来につながるシステムを積極的に活用していきます。



健康チェックの検査項目の充実

検体測定室で測定した血糖値や脂質、腸内フローラ検査の結果をもとに、検査を受けた方の今後の健康につながるカウンセリングを多数の店舗で行っています。今後はさらに検査項目を増やし、地域の方々の健康に貢献できる薬局づくりに取り組んでいきます。

■ 超高齢社会への対応

地域包括ケアシステムへの取り組み

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、介護や医療を必要とする高齢者人口の比率が急激に高まる中、日本政府は健康寿命の延伸を最重要課題と位置づけ、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。

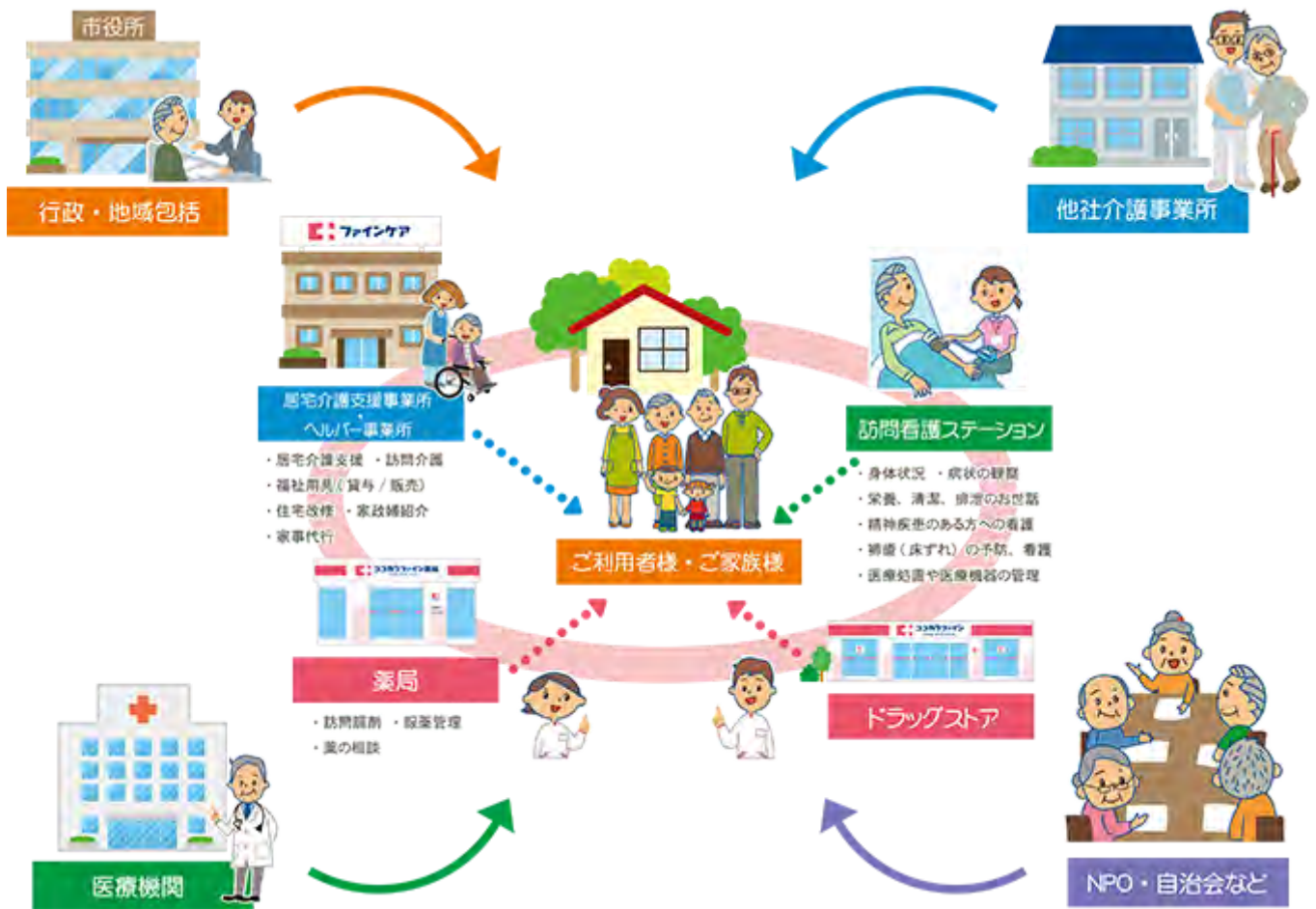
ココカラファインは、ドラッグストア事業、調剤事業、介護事業など、地域の人々の健康と生活に関するインフラ事業を営む企業として、地域包括ケアシステムの一翼を積極的に担っています。

ヘルスケアネットワークの構築

地域包括ケアシステムの一員として機能すると同時に、ココカラファインは、より地域の人々に密着した取り組みとして、「地域のヘルスケアネットワークの構築」を進めています。当社の持つ、訪問看護・訪問介護・介護用品レンタルなどの介護サービスや介護施設、ドラッグストアや調剤薬局、在宅調剤などの健康に関するサービス、インターネット販売事業など、様々な拠点やサービスを連携させ、近隣の医療機関や自治体とも広く繋がりながら、それぞれの地域に住む人々に必要なサービスを必要なだけ、一体的に提供することが目的です。当社の持つ様々な拠点が、地域のヘルスケア拠点となり、地域の人々が健康で快適に生活するための持続的な生活支援システムとして機能するよう、ネットワークの構築に取り組んでいます。

ココカラファインの店舗が地域のヘルスケア全般の相談窓口としての機能を持ち、そこにいる資格者がお客様とのコミュニケーションの起点となり、地域包括ケアにおいても、チーム医療のコーディネーター役として中心的な役割を果たしていきます。

地域包括ケアシステムとの連携



ヘルスケアネットワーク〈狭山モデル〉

埼玉県狭山市にて、サービス付高齢者向け住宅「ファインケアあおぞら」を計95戸運営しています。高齢者住宅としての機能を満たすのみならず、さまざまな高齢者向けサービスが提供されるのが特徴です。当社グループ内の機能を活かし、小売サービス・調剤サービスなどを提供するほか、自社内介護サービスによる居宅介護支援、訪問介護、訪問看護・デイサービス・ショートステイと連携しています。また、グループ外の近隣医療機関との連携も実施し、ヘルスケアネットワークのモデルづくりを推進しています。

ヘルスケアネットワーク〈世田谷モデル〉

東京都世田谷区を中心に居宅支援事業、訪問介護事業、家政婦紹介業、福祉用具レンタル事業を展開しており、ドラッグストア・調剤薬局のドミナントエリアである同地域で在宅介護事業と連携することで、ヘルスケアネットワークのモデルづくりを推進しています。

地域社会とのネットワーク

パーキンソン病患者勉強会



中学生の職業体験



地域住民が参加した介護祭り



地域における多職種による勉強会開催



介護施設内のイベント（ココカラファイン従業員もバンドで参加）



愛安住とドラッグ店舗の合同イベント



2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動を自粛しました。

VI. 地域社会への貢献



地域社会に必要とされる事業の継続

- セルフメディケーションへの変遷
- セルフメディケーション推進の取り組み
- その他の貢献活動

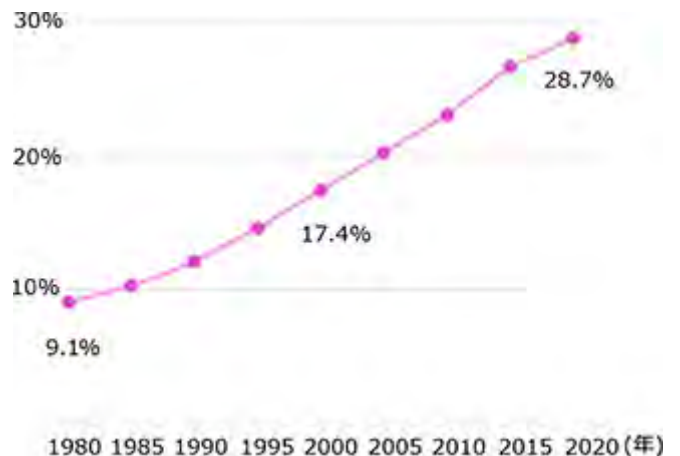


■ セルフメディケーションへの変遷

① 世界に類を見ない我が国の高齢化率

日本は、世界でも類を見ないスピードで高齢化が進んでいます。「総人口に占める65歳以上の人口割合」を高年齢化率といいますが、これが21%を超えると「超高齢社会」と呼びます。わが国は2020年に28.7%となり、これは世界のどの国よりも高い数値です。さらに2040年には35.3%に達する見込みです。

総人口に占める65歳以上の割合

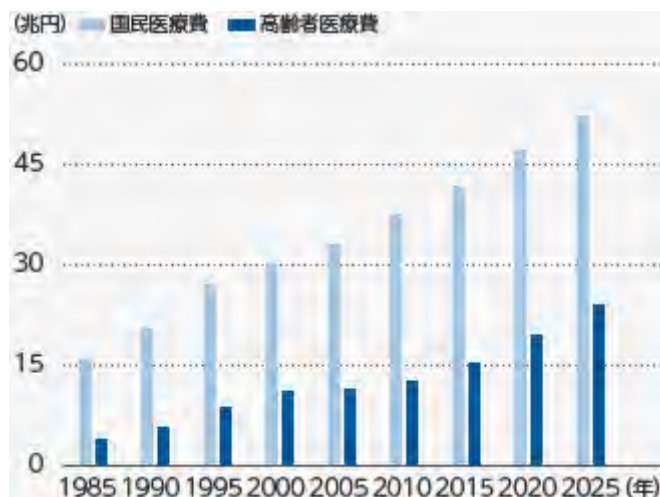


出典：統計局・高齢者人口及び割合の推移

②国民医療費増加

高齢化の進行により、一般会計の3割超を占める社会保障給付費は増加しています。中でも国民医療費は、2010年の37兆円から、2025年で52兆円にまで増加する見通しとなっています。国民医療費は公的医療保険によって賄われるため、日本はこれまで「病気になったらすぐ病院へ行く」という文化が根付いてきました。現在、高齢化を背景とする医療費の増加は、国の財政圧迫という大きな社会保障問題となっています。

国民医療費と高齢者医療費の推移



出典：厚生労働省

③セルフメディケーション型医療への転換

こうした問題を解決するため期待されているのが、「自分の身体は自分で守る」、「軽度の症状であれば自分自身で解決する」というセルフメディケーションの推進です。調剤薬局やドラッグストアは、医療機関の処方によって販売する医療用医薬品、製薬メーカーが販売する市販薬、サプリメントや健康補助食品など日常の健康を維持するための商品を幅広く取り扱っており、こうしたものを使いこなすことによって、医師の診察を受けることなく自身の健康維持や軽度の体調変化に対応できるようになります。

病院集中型(今までの日本の医療制度)

「病気になったらすぐ病院へ!」

近年の医療制度改革

一般診療医療費削減

- 医療費自己負担率UP
 - ▶ 病院へ行くにもお金がかかる
- 高齢者医療制度の見直し
 - ▶ 療養病床削減で「入院」から「自宅・施設介護」へ高まる地域医療の必要性

薬剤費削減

- 保険薬をスイッチOTCへ
 - ▶ 病院でしかもらえなかった薬が薬局で買えるように
- ジェネリック医薬品の普及
 - ▶ 医薬品が以前より低価格に

セルフメディケーション型の医療

「自分の身体は自分で守る」

ドラッグストア・調剤薬局が受け皿に

予防・自己健康管理に関するマーケット増大

■ セルフメディケーション推進の取り組み

「セルフメディケーションの推進」といっても、生活者の多くは健康や薬のスペシャリストではないため、誤った自己管理をしてしまうと、健康への悪影響を引き起こすリスクを高めることになってしまいます。ココカラファインは、日本全国に1,300を超えるドラッグストア・調剤薬局・介護施設、また計8,000人を超える薬剤師・登録販売者・管理栄養士・看護師・ケアマネジャー・介護福祉士・作業療法士・理学療法士などのスペシャリストを擁しています。これらの強みを活かし、様々な健康イベントへの参加などを通じて、体調の自己管理や健康を維持・増進することの重要性を伝えながら、セルフメディケーションの浸透を図っています。

店舗での健康増進活動

ココカラファインは、お客様・患者様の健康増進や治療のお手伝いをする地域の「かかりつけ薬局・ドラッグストア」として、いつでも気軽に相談できる、身近で頼れるお店づくりを進めています。処方薬や市販薬に関するご相談のほか、ちょっとした不調や気になることのご相談をお受けしたり、簡易健康チェックができる器具を設置したりと、地域の人々に健康でお過ごしいただくためのお手伝いとなるような活動を続けています。

健康サポート薬局

全国の当社調剤薬局にて、定期的に健康ミニイベントを開催。疾病などの早期発見や自己管理のきっかけづくりとして、肺年齢測定、血圧測定、血流チェックや健康相談会などを実施し、地域の皆様の健康維持・増進に取り組んでいます。2020年度はコロナウイルス感染症対策を行いながら店舗内外で581回の健康相談会を開催し、地域社会の健康増進に貢献することができました。

また、様々な全国の健康イベントに参加するなど、より広い範囲の方々に向けてセルフメディケーションの啓発活動を進めています。



検体測定室

地域の健康増進のため、調剤薬局にて、血糖測定、コレステロール値などを検査できる仕組みを提供しています。



スポーツイベントへの協力

スポーツを通じた健康支援活動として、各種地域のスポーツイベントに協賛しています。ココカラファインでは、積極的にスポーツイベントにてテーピングサービス、管理栄養士考案レシピによる健康ドリンクの試飲、健康関連商品サンプルの配布、骨密度測定会などを行なっています。これまで毎年取り組みを実施してきましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の観点から、多くのイベントを活動自粛としました。

新潟県親子ふれあいマラソンを主催

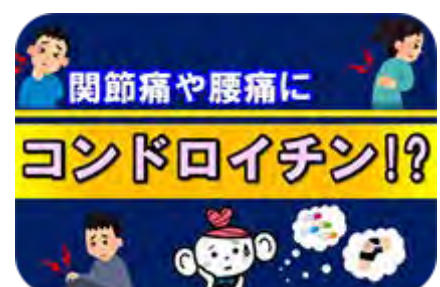
2020年11月、厳重な感染対策のもと、イベントの規模を小学生以下の部と小学生の部の親子ランのみに縮小して、マラソン大会を実施しました。



健康増進イベントの開催

健康増進WEBイベント「ココロ、カラダ、ゲンキ。バーチャルフェスタ」

2016年から、セルフメディケーションの啓発と浸透を目的として、当社主催の無料健康増進イベント「ココロ、カラダ、ゲンキ。フェスタ」を毎年開催しています。2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、安心・安全・おうち時間の充実を意識して、WEB上で「ココロ、カラダ、ゲンキ。バーチャルフェスタ」を開催しました。各出展者が特設サイト上のバーチャルブースで展示を行ない、新製品の紹介や健康増進に向けた情報提供を行うブース、またお子様が楽しめるブースなど6カテゴリー43ブースが揃う大型イベントとなりました。イベント開催中の5日間で、約10万人のお客様にアクセスいただきました。



こどもたちへの教育

薬剤師の職業体験や、医薬品に関する学習を通して、人生の早い時期から体調管理やセルフメディケーションの重要性を理解してもらえるように啓発活動を行なっています。

キッザニア甲子園にパビリオンを出展

楽しみながら社会の仕組みを学ぶことができる、子どもが主役の街「キッザニア甲子園」に、当社は2013年からスポンサーとしてパビリオンを出展しています。調剤薬局で働く薬剤師の職業体験や、公衆衛生に関係するオリジナル商品作成などを通じて、自身の健康やセルフメディケーションへの意識をはぐくんでいます。



WEB健康イベントで薬剤師のおしごとの内容をわかりやすくレクチャー

2020年に開催した「ココロ、カラダ、ゲンキ。バーチャルフェスタ」にて、ココカラファインの薬剤師が講師となって処方せん調剤一般業務について説明する動画を掲載したほか、自宅のできる薬剤師体験キットも提供しました。



小学生向け教育図書の製作協力

様々な仕事をわかりやすく解説する子ども向けキャリア教育冊子「おしごと年鑑」に2016年から協賛し、医薬品や薬剤師の仕事について紹介しています。全国の小学校や図書館に約7万部が寄贈されており、一般書店でも販売されている人気の教材です。

また、2014年発刊の小学生向け教育図書「ドラッグストアと調剤のひみつ」の企画・政策に全面的に協力しました。身近な存在であるドラッグストアや調剤薬局を舞台に、医薬品や化粧品、日用品の特徴や、薬剤師・登録販売者など資格者の役割を、漫画を通じて子どもたちが興味を持って学ぶことができる内容となっており、全国約22,300の小学校と約3,200の公立図書館に寄贈されました。



小学生向けオリジナルくすり教育テキストの提供

小学3年生以上を対象としたオリジナルテキストを作成し、全国の小学校で行われる「くすり教育」の授業に提供しています。2016年から取り組みを始め、2020年は83校の小学校で6,219名の生徒に対して授業が行われました。また、夏休みのこどもイベント等に当社の薬剤師を派遣して、医薬品や薬剤師の仕事について学べる機会などもついています。



■ その他の貢献活動

公益財団法人「みちのく未来基金」への寄付

当社は2016年から、当社グループの各店舗で利用された「お買物優待券」の総額の10%を、公益財団法人「みちのく未来基金」に毎年寄付しています。

※ 「みちのく未来基金」とは、東日本大震災において被災し、両親又はどちらかの親を亡くされた子供たちの進学を支援するための奨学基金です。

義援金募金活動

大規模な地震・台風・大雨災害が起こった際、被災された地域の皆様への義援金募金活動を行なっています。2020年は「令和2年7月豪雨災害義援金」の募金活動を120店舗で行ない、合計189,115円を日本赤十字社を通じて被災地へ寄付しています。

災害時応援協定への取り組み

現在34の自治体との災害協定締結を進め、万が一の災害時に生活物資などを提供することを約束しています。

最前線で戦う医療従事者へ寄付

2021年3月16日～5月15日の期間中、花王商品のお買い上げ金額の一部を医療従事者支援金として公益財団法人に寄付しています。

